

Druk 54号





目次

- 隊員自己紹介.....1
- コロナと私.....22
- 情報交換広場.....33
- ブータンあるある.....43
- コロナ禍であるの時私たちは.....48
- 編集委員会後記.....61



隊員自己紹介



氏名：石川久夫（2019-3次隊、建築設備）

配属先：Ministry of Health, 保健省

- **出身地**：埼玉県
- **趣味**：ジョギング、
- **好きなブータン料理**：トゥクパ
辛い料理が苦手なため、外食時は”without chili”, “no spicy”で注文しています。

- **経歴**：

大学卒業後、建設会社の設計部門で定年まで働き、海外協力隊は退職後に参加しています。会社員時代に約11年間、海外勤務（米国）を経験しました。

- **志望理由**：

勤務していた職場に海外協力隊経験者が居て何となくあこがれていたことと、東日本大震災後に何回か参加した被災地での短期ボランティア体験が、サラリーマンとは違うやりがいを感じさせてくれたこと。



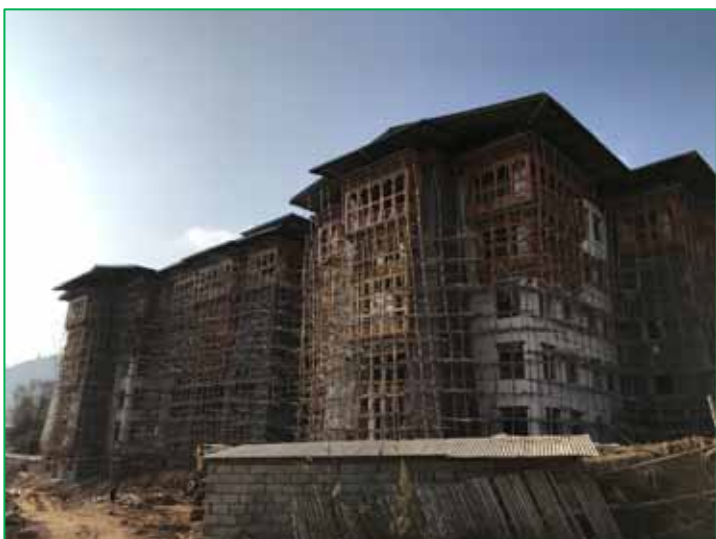
- **活動内容**：

配属先の業務は病院建築の設計・発注・工事管理・建物竣工後の維持管理支援等で、その中の建築設備（建物の空調換気・給排水衛生設備）に関する技術支援・技術移転を実施しています。

- **配属先の良い所**：

（1）職員10名程度が机を並べられる大部屋に自席があり、日頃から周囲のブータン人とコミュニケーションを取りやすいこと。

（2）職場の近くに施工中の病院建築現場があり、活動を進める上で重要な「ブータンの病院建築の実情を理解・把握する」ことができ、気になることがあるとすぐに現地に行って確認できること。



Gyaltsuen Jetsun Pema母子病院
B・C・D棟（施工中、2023年1月）

氏名：北川 伸二 (2021年度－7次隊 金属加工)
配属先：Farm Machinery Corporation Limited
(通称：FMCL 日本語：農業機械公社)
所在地：パロ県、ボンディ

出身地：三重県

趣味：山歩き

最終職歴：

事務機器メーカーの開発部門の管理職として商品開発や海外商品安全認証の業務に携わる。

協力隊との関わり：

1989年1月にブータンの2代目隊員としてパロにあるAMC

(Agriculture Machinery Centre) に赴任し、農機具の製造指導にあたる。



写真：Tsirangでの農業フェスティバル 1990年



写真：農機の解体指導 2022年

活動紹介：

配属先は耕運機用の鋤、田車等の農機や、鋤先やロータリーブレード等のスペアパーツの製造を行っている。そういった農機の部品やスペアパーツを作るための金型の製作指導と、新しい農具の考案とその製作指導を行っています。パロに来た際には、ぜひ見学に来て下さい。

2013年にJICA-Bhutan開発協力25周年記念行事に参加すべく、久しぶりにブータンを訪れたのをきっかけに、またブータンと関わる様になり、短期専門家、シニアボランティアとして同じところで活動する事となる。

(FMCLは2016年にAMCから分離) 新型コロナにより2020年3月に避難一時帰国するも、再派遣となり現在に至る。



写真：金型製作実習 2022年

齋藤 亨

2021年度7 隊次（2021年12月5日～）職種：体育
配属先：Paro College of Education, パロ教育大学

- ・神戸市須磨区出身 ・1960年4月26日生（62歳）
- ・以前の職業：県立高校保健体育教師
- ・趣味：映画鑑賞、ロードレース
「ブータン山の教室」のDVDを持っています。
- ・スポーツ：13歳から27歳まで陸上競技をやっていました。大学から社会人の間は十種競技という種目をやっていました。
- ・ここに至るまでのこと：
大学時代の後輩が青年海外協力隊に参加したことで触発され、28歳の時にモルディブに陸上競技隊員として現職参加しました。56歳の時に、ふと覗いた要請書に「スリランカ・体育」の文字を見つけ、誰かに背中を押されたかのように再挑戦を考え、定年まで1年3カ月を残して県立高校を早期退職しました。
- ・ブータンで1年過ごす中で考えていること：
ブータンの人たちは小さい頃から「人を敬いなさい」と教えられているのだろうと感じています。私の活動が教える立場なのでそう感じることも多いのかもしれませんが。年齢的なものもあるのでしょうか。日本の学校で勤務しながら次第に変化してきていると感じていた「何か」はこれなのかもしれないな、と思い始めています。他者の権利を尊重することと、他者そのものを尊重することは同じようで大きく違います。国民の多くが他人を敬い、尊重する気持ちを持って生活しているので、日本人の私には幸せそうに見えるのではないかと、ということが、ブータンにくる前に考えていた「なぜ、ブータンはしあわせの国なのか？」という命題への、今のところの私の回答の一つです。

大学1年生たちに走高跳の説明



出発時、
成田からインドへ向かう時の姿



2022年6月4日、
ティンブーでのトレイルラン12.5km

ブータンの1日

活動内容：パロ教育大学保健体育スポーツコーチング学科（2年制）の学生に体育（陸上競技や各種球技）実技を指導

- 6：00 起床・朝食
 - 6：30 朝ジョグ（約7km）
筋トレ・ストレッチ
 - 7：30 お湯浴び・洗濯・準備
 - 8：10 出勤（職場まで徒歩5分）
 - 12：00 昼食（学食か近所の食堂）
 - 16：30 帰宅
 - 19：00 夕食（簡単な自炊）
アマゾンでドラマ視聴、2人いる孫娘の写真チェック、spotifyで昔の曲を聴くなどして過ごす
 - 22：00 就寝
- ※休日はなるべくタウンに行きます

氏名：榊山 勉（2021-7次隊、防災・災害対策）
配属先：Department of Disaster Management, Ministry of Home and Cultural Affairs, 防災管理局, 内務文化省

出身：愛知県豊田市。以降岡崎市、東京、千葉、埼玉に移動。大学院修士課程修了後研究所で海岸工学の研究に、後半は原子力発電所の津波対策に関する研究に従事した。その中で東日本大震災が発生したので研究環境が大きく変化した。資格など：博士(工学), 英検1級(1次は8回目, 2次は1次免除最後の3回目で合格, この時61歳, 諦めないこと, 火事場のバカ力を学んだ)・協力隊員志望理由：サモア独立国への津波被災調査団に参加した時、現地で活動する青年海外協力隊員の話聞いて感銘したため。2015年に早期退職後応募し、2016-2次隊、ジャマイカに土木職、SVで派遣。ブータンは2か国目。特技はブータンの男性用伝統衣装Ghoのアイロンがけ、仕立て屋で見て興味をもったのと必要に迫られて。活動内容の1件目：提案項目、世界食糧計画(WFP)が提案している72-hr Rapid Assessment Approachの洪水版を作成すること。開発途上国で自然災害が発生したときに72時間後までに最大被災地と被災者数を推定するもので救援物資を迅速に届けるために必要とされる。既に2021年に地震版は作成されており、未着手だった洪水版の作成を

提案した。衛星画像を用いて洪水氾濫域を判定しブータンにある地理情報データベースを利用する。2件目の提案は日本の避難所の設定方法を導入することを目指している。ブータンにはThimphu Thromdeを除き、あらかじめ避難所が設定されていない。その他に配属先からの要請項目が2件ある。



配属先にあるブータン国の防災対策本部の会議室。2020年1月に新型コロナウイルスに対する最初の対策会議が首相、保健大臣など5名の大臣が集まりここで開催された。2019-2次隊の時に同席できた。

氏名：山中睦子（2021-7次隊，職種 手工芸）
配属先：Draktsho Vocational Training Centre
for Special Children and Youth,
ダクツォ青少年障がい者職業訓練センター

出身 栃木県

好きな食べ物 緑黄色野菜

尊敬している人 キアヌ リーブス

20代の後半から10年おきにJICAで活動しています。なぜかスリランカに縁があって、協力隊その他3回JICAから派遣されました。NGOや民間でも仕事をして、約20年近くスリランカに住んでいました。

ブータンでの生活はコロナ前後合わせて約2年になります。メインの活動はぬいぐるみ作り、ブータンに来るまで一度もぬいぐるみを作ったことがなかったので初めはとても大変でしたが、今では人形とぬいぐるみの売上げが配属先の収入の一部になっていることをとてもうれしく思います。

残された1年楽しく有意義に過ごしたいと思いますので、よろしくをお願いします(*^^*)



氏名：福井勇貴（2022-7次隊、柔道）

配属先：Bhutan Judo Association, ブータン柔道協会

・出身地：宮城県

私は今年26歳になります（最年少隊員）6歳から柔道を始め大学生まで競技者として活動してきた、これまで続けてきた柔道を世界という舞台で指導者として活動したいと思い、2019年にJOCVに応募し合格しコスタリカに赴任予定がコロナの影響でブータンに任国振替になり、渡航直前に手続きの変更などを経て2022年4月に赴任してきました。



趣味のカメラをブータンまで持参してブータンの景色、風景などを撮りに出掛けています。

犬が大好きで配属先にいる野良犬といつも戯れています

私はブータン柔道協会に配属していて、国内2チーム、3カテゴリーの指導を普段行っています。私の活動内容は柔道普及活動、技術指導、ブータン人コーチの育成・協会運営・管理をメインに行なっていて、国際大会上位入賞を目標に選手たちと共に日々精進しています。



氏名：小島海治（2022年7次隊，音楽）

配属先：Dechencholing Higher Secondary School, ディチェンチョリン小中高等学校

東京都目黒区出身、現在は神奈川県大和市在住です。ディチェンチョリンセカンドリーハイスクールで音楽の授業を行っています。住まいは首都ティンパーですが、北の端のダンリナという田舎町に住んでいます。来る前の要請は中高生の音楽の授業という事だったのですが、実際来てみて小学生クラスの担当の要請があり、新年度になりもっと上の学年を教えたいという要望がかなえられ、それでも今年度からは小学校6年生から中学3年生までを教えることになりました。ブータンではこれまで音楽教育というものを公立学校ではやってなかったので、僕が初めての音楽授業を担当することになったという訳です。初めてという事で教える先生もいなく、教科書はもちろん楽器も何もないという状態でスタートしました。これは日本にいる時から分かっていたことですが、実際来てみて何もないという事がどれほど大変だったかは、実際担当した者でしか分からないと思います。とはいえ、何とか頑張っけてやっています。ダンリナでは家のすぐ近くにフィットネスジムがあり、ブータン人のプライベートのコーチに月曜から金曜まで毎日レッスンについています。またすぐそばに同じ経営者のおしゃれなピザレストランがあります。とてもおいしいですよ。もしダンリナにお越しの際には、是非と一緒に食べに行きましょう。趣味はリコーダーを吹くこととボクシングを見ることです。それに、ブータンに来てからマラソンをすることに復活しました。直近ではプナカマラソン大会に出場します。帰国するまでまだあと1年以上ありますので、それまでにはあと数回出場する機会があると思います。よろしかったら是非と一緒に走りましょう。



写真：音楽の授業中の様子



氏名：浅田 瑠理（2021-4，野菜栽培）

配属先：Farm Machinery Corporation Limited,
農業機械公社

出身地 岩手県

趣味

動物と戯れる、登山、カフェ巡り、
最安旅行計画を立てる

特技 馬術🐎、着物初心者👜

経歴

農学部卒業後、農業機械の販売会社で8年間主に人事を担当していました。配属初日に出社すると前職のメーカーの機械がズラッと並んでいて既視感が凄かったです。

協力隊志望理由

漠然といつか海外に行きたいと思っていましたが、2019年のカンボジア旅行がきっかけで決意しました。その後コロナによる待機、任国振替を経て派遣となりました。



休日

同僚とハイキングやお寺にお参りに行ったり、ランチをしたりしています。一人のときは散歩やポケモンをしています！



活動について

本社と農場の2拠点で活動しています。現在は夏作に向けて、トマトの播種を始めました。高単価な作物の選定や、土壌改良資材の導入など少しずつですが進んできました。

カウンターパートとは時々喧嘩(?)しながらも、つかず離れずの距離でやっています。

←ボカシ肥の仕込み中

→ハ出身の同僚宅でヘンテ作り



氏名：岩佐 幹生（2021-4,労働安全衛生）

配属先：Construction Development Corporation Limited, 建設開発公社

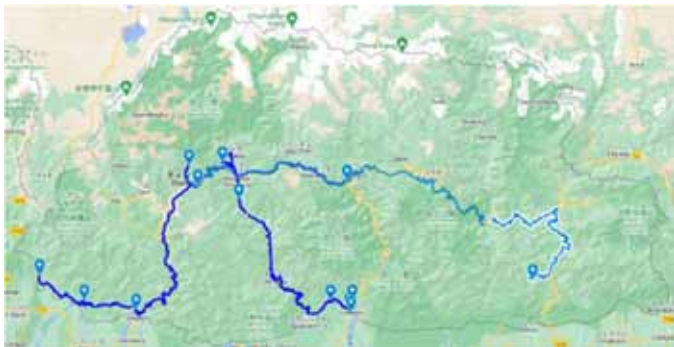
学校を卒業してからゼネコンで現場中心のサラリーマンをしてまいりました。

今の中高年サラリーマンは、60を過ぎると定年で退職するか、会社に残って仕事を続けるか、選択することになります。

通勤電車の中で、青年海外協力隊の吊革広告を見ながら、自分とは遠い世界のことだなと思いつつ過ごしていましたが、モノは試しで説明会に参加してみました。思いがけず、おだてられて、試しに応募した末にこちらに至ったという次第です。

訓練所では様々な言葉や新規のフィールドにチャレンジする方々を見て大変感心しておりましたが、当方は、同じ建設業界で言葉も英語で大丈夫ということで、実際、こちらでの業務にも、全く違和感無く過ごさせていただいております。

また、この国は人付き合いが、自分の田舎（和歌山）ととても良く似ていまして、人情に厚く、手を変え、品を変え、良くしていただけるので、飽きずに楽しく過ごしています。



建設会社は、現場に仕事がありますので、短期間の内にも様々な場所に行かせていただき、広く人と会ってお話させていただいております。年齢を問わず、知識に貪欲で、真摯に少しでも前に進もうとする意欲には、胸を打たれるものがあり、ここに来て良かったという思いを重ねています。移動は観光では無いので、リゾートの思い出などは無いのですが、道端の露天のおばちゃんたちが面白かったり、旅館の家族が面白かったり、招いてくれたお店の生活が面白かったり、普通の人付き合いが楽しい土地柄です。明け方の山々から雲が沸き、各家の竈から煙があがる風景も、何度見ても胸が熱くなります。

今は、人付き合いが会社を超えて広がって来て、様々な人とお話ができる機会も増えました。

難しい局面に、各世代がそれぞれ努力されているのを聞くと、既視感を覚えるのと同時に、今なら何が出来るかを自分に問う日々でもあります。

2年という大変短い時間ですので、ひとつひとつの機会を大事に過ごしていきたいと思っております。

氏名：新保 比奈子（2022年7次隊、看護師）

配属先：Jigme Dorji Wangchuck National Referral Hospital , ジグミドルジワンチュク国立病院 救急部

経歴

1998年看護師免許取得

1998年から2022年5月末まで 総合病院勤務

出身地 福井県

マイブーム

YouTubeの Mark Wiensのブータン旅行にでていた、ティンブー市内の名所やお店を回ること。日本では映画館で映画を見るのが好きでした。近いうちにブータンの映画館で映画を見るのが目標。病院訪問した際に、食堂に行き食事をする。今のところ、JDW病院の食堂がNo.1です。

協力隊志望理由

これまで短期間ですが4か国（インドネシア、ジンバブエ、ハイチ、ウガンダ）で医療活動を行った経験があります。2年間という長期間海外で現地の人と一緒に活動したいと思い、参加することに決めました。



ブッタポイントでのイベント救護での
血圧測定

活動紹介

2022年7月より、JDW病院の救急外来で活動しています。私は看護師ですが、今回はEMR(Emergency Medical Responder)という日本でいえば、救命救急士&救急外来専門看護師の職種の人と活動しています。主に救急外来の蘇生室で活動していますが、112より要請があれば、救急車に同乗し、病院前治療も行っています。ティンブー市内どこでも行きますし、ブータンの社会現実を思い知らされるような症例をみることもあります。EMRは、イベント救護も担当しています。スポーツ救護以外は、ドレスコードはキラです。私は、病院の外で活動することも好きなのでこの案件に巡り合えてよかったです。あと、私はJDW病院内にあるEMR養成コースのサポートも担当しています。学生指導は、苦手ですが、実習にくる学生たちが成長していく姿に元気をもらってます。



EMRの学生への講義

氏名：小堀友里亜（2022年度7次隊体育）

配属先：Bitekha school ビデカ小中学校

経歴, 2019年度3次隊訓練終了
待機中は外国人技能実習生の
管理団体で営業兼日本語教師

趣味, サーフイン 格闘技観戦

特技, フルーツ

将来の夢, 海の家ママ

協力隊志望理由, 大学時に参
加したカンボジア・フィリピ
ンボランティア活動で心動か
されたから



活動の紹介

全校人数約500人

pp（幼稚園年長）～
class10（高校一年相
当）の児童生徒を対象に
保健体育の授業を実施。

半数以上が校内の寮で生
活しているので放課後や
休日は一緒にスポーツを
したりして過ごしていま
す。

氏名：大内 巴瑠子（2022-1次隊、体育）

配属先：Katso Lower Secondary School, カツォ小中学校

【自己紹介】

- ・ 出身地：東京都
- ・ 趣味：運動すること、ゴロゴロすること、裁縫
- ・ 経歴：中学はソフトテニス、高校はサッカー、大学はアルティメット、とスポーツを楽しんで生きてきました！都立高校で保健体育科教員として6年働き、今に至ります。
- ・ 志望理由：社会人2年目の時にJOCVとしてカンボジアにいた友人を訪ねたことがきっかけです。スポーツの可能性と素晴らしさを世界の人たちに伝えたいなと思いました。



【活動の紹介】

要請内容は主に、保健体育の授業と体育行事の推進です。


9月にはダンスショーで小学3年生とソーラン節を練習し披露しました。また、全校生徒対象に11月には運動会を実施しました。

4チームに分かれ、各学年1種目の競技に参加して競いました。運動を通じて日本の文化を体験し、楽しんでもらえました♪

【ハ県って??】

私の任地であるハ県はブータンの西側に位置し、中国との国境を有する地域でもあります。

ブータンで2番目に寒いと言われており、11月には氷点下を迎えます。

ハ県の名物は西部の正月“ロンバ”にむけて食べられる“ヘンテ”というモモのような食べ物です。皮にはそば粉を、中身には乾燥させたカブやサグを使います。

ハに来た際にはぜひお試しください♪



氏名：熊田淳（2022年度1隊次，きのこ栽培）
配属先：National Mushroom Centre,
国立きのこセンター

派遣前は、福島県林業研究センターできのこ放射線物質の研究に従事していました。学生時代は、柔道に明け暮れ、派遣前は柔術と居合道で心身を鍛錬していました。休日は、愛車のYAMAHA隼やBMW R1200GSにテントを積みツーリングを楽しんでいました。1日の最高走破距離は1,300km、最高海拔は5,900mです。

仕事と子育てを卒業し、学生時代の夢の実現と、社会から得た知識と技術の還元により充実した第二の人生を送るため、任国に赴任しました。任務以外にもトレッキングで集落を巡り、伝統的な文化や習慣に触れたいと思います。



従来のシイタケとヒラタケ栽培安定性の向上とともに、最近着手したマンネンタケ、ナメコ、マイタケ、アミガサタケ、ヤマブシタケ等の現地栽培法と国産品種の開発を支援しています。

実験室が主な活動の場ですが、きのこシーズンには野生株の探索と収集のため山で活動する機会も多く、着任早々にトリフとナメコ近縁種を採取する幸運に恵まれ、基礎的生理・栽培試験とDNA解析に着手しました。

氏名：山本 あすか（2022-7次隊， 体育）
配属先：Khuruthang Middle Secondary School,
クルタン小中学校（プナカ県）

出身地：大阪府、トンサ

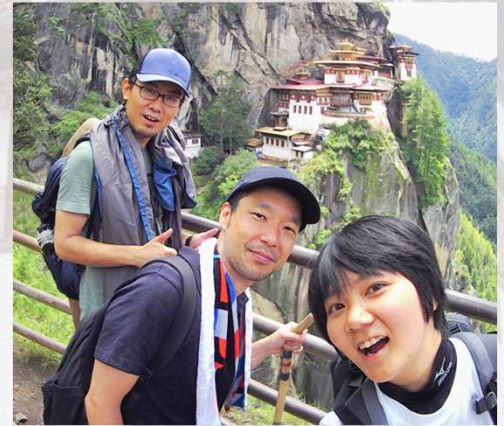
ニックネーム：あっすん、トンサ姫

経歴：小学校教員(大阪のやんちゃっ子たちと格闘)

趣味：寺・聖地巡り、トレッキング、
歩き回ること(チョルテン108周はおすすめ!)

プナカのおすすめ：

Khamsum Yulley Namgyal Chorten
プナカ・ゾンのライトアップ
チミラカンの土産物屋
ラフティング
ホットストーンバス
川を眺めながらのんびり



主な活動内容

- ① Class PPから10までの児童生徒に体育の授業を実施する
- ② 同僚教員に指導方法について助言する
- ③ 課外活動等を通して運動の重要性と理解を深める

その他の活動(目標含む)

- ・ 運動会・体力測定の実施
- ・ ワークショップ・巡回指導の実施
- ・ 野球・ソフトボールの普及
- ・ 日本の子どもたちとの交流会の実施
- ・ 日本文化の紹介



氏名：鍋田はじめ（2022-2次隊、農林統計）

配属先：Ministry of Agriculture and Forests, 農林省

- ・ 出身地：神戸市（今は京都市）
- ・ 趣味：下手な寿司を握る
- ・ 特技：下手な天ぷらを揚げる
- ・ 経歴：大学卒業後、農協職員、乾物行商、ちり紙交換、軽トラ運転手、先斗町歌舞練場手伝い、バングラデシュ農協職員（一番下の写真）、農薬メーカー研究員、国連専門機関見習い、開発援助機関職員、大学等を転々とし、退職参加しています。

・ 志望理由：若い人がアジア・アフリカ・中東で活躍するのを見て、心惹かれるものを感じました。ある程度、ゾンカを話し書けるようになりたいです。



グローバルプログラム（釜石市）の活動と農林省（ブータン）の活動をご紹介します。

グローバル：釜石の復興事業は2021年度に終了していて、今は地方創生が課題です。根浜マインドというNPOでお手伝いし、インドネシア津波で被災したアチェ市との交流事業等を担当しました（左写真は釜石市役所）。

農林省：今は13次5カ年計画の策定準備が進行中です。C/Pの皆さんが2023年度の農業政策案を書いておられるので、統計数字の読み方を議論するなど私も参画に努めています。統計は得意でないですが（笑）、今後は統計分析等へも議論を広げたいです。



氏名：田辺 和（2022年度2次隊，理学療法士）
配属先：Gyaltseen Jetsun Pema Wangchuck
Mother and Child Hospital,
ゲルツェン・ジツェン・ペマ母子病院地域保健科
マターナルエクササイズユニット

- ・ 出身：千葉県柏市
- ・ 趣味：製菓、旅行。最近チャイとパン作りに凝っています。
- ・ 経歴：回復期リハビリテーション病院にて3年、都内の総合病院にて3年、勤務していました。専門は脳卒中で、おじいちゃんおばあちゃん大好きです。生活に必要な動作は排泄、食事、入浴介助など何でもできます。
- ・ 志望理由：両親ともに協力隊OVの2世です。自分も幼少期にザンビアに3年間住んでいました。小学校のころにはどうしたら協力隊員になれるのかと調べ、資格を取ればいいのか！と考え理学療法士を目指し、現在夢が叶いブータンにいます。



マターナルエクササイズユニットは、Antenatal Class (ANC:産前クラス)、Postnatal Class (PNC:産後クラス)の2つの部屋があり、それぞれ職員は2人ずつで私を含め4人でローテーションしています。ANCでは集団で3種類のエクササイズを行っています。うち一つは出産時の赤ちゃんの押し方クラスだったりします。PNCでは個別でエクササイズを指導しています。妊産婦の腰痛や骨盤痛などを改善できるよう取り組んでいますが、運動の大切さを知ってもらえるようまず働きかけたいと思っています。



氏名：2022-2 村中 裕希

配属先：JDWNR病院PICU(小児集中治療センター)

初めまして。東京都出身、今年28歳になりました。私は子どもが好きで小児科看護師を志し、看護師資格を取得後は子ども専門病院のPICUで5年間勤務しました。その後途上国の医療現場で活動してみたいという思いからJOCVに参加を決めました。

趣味は映画やドラマ鑑賞、カフェ巡り。最近は猫が好きなので猫がいるカフェによく行っています。料理やお菓子も作るのは嫌いじゃないですが、毎日のティータイムとシェアランチに持って行くものに日々悩んでいます。



活動現場のPICUで驚いたのはとにかく全員優しいことです。先輩後輩関係ない働きやすさは日本にも欲しいなと思っています。難しいと感じている場面は物品や環境がそもそも違うのでこの国にあった最適な方法を考えることです。まだ慣れることに精一杯な段階ですが徐々にPICUの現状をよくしていけるように頑張りたいです。よろしくをお願いします。

氏名：花里 さくら（2022 - 2, マーケティング）
配属先：Farm Machinery Corporation Limited
農業機械公社

■ 出身地
長野県

■ 趣味
登山とダンス

■ 経歴
大学では昆虫機能利用学を専攻しました🐛
昆虫が持っている機能を現代に応用するというものです。卒業後、ストッキングメーカーと専門商社で計6年働きました。

■ ペット
トカゲとヤモリを飼っています。今は母が飼育中🐸

■ ブータンに来て驚いたこと
とにかく色んな人に「ブータン人かと思った」と言われ、初対面ではゾンカで話しかけられること。どうやら私はパロップに似てるらしい。日本人？と聞かれたのはまだ2回程です。



■ 同僚たち
FMCLは同世代の社員が多く、毎週末違う場所に遊びに連れて行ってしてくれます。今週末は初ドツォに行ってきます！たのしみ！

■ 写真
← 農業セクターの展示会
↑ 年越しディナーと
食堂のランチ



氏名：熊澤 美帆

(2022年度3次隊 職種：障害児者支援)

配属先：Changangkha Middle Secondary School
チャンガンカ小中学校

【出身地】石川県 出身
神奈川県 在住

【趣味】登山 ドライブ

【特技】人の名前をすぐに
覚えられること。
ブータンの人の名前は
なかなか...苦戦中です。



【協力隊志望理由】

難民支援に携わることを志望し、協力隊への応募を決意しました。

縁あって、こうしてブータンに来られたこと、そこから新たに繋がることのできる人々との出会いに感謝し、この2年もさらなる成長をしていきたいです。

【要請内容と活動の抱負】

特別支援学級において、美術教育に携わります。

これから関わる子どもたちが社会へ出て人生を歩む中で、豊かな日々が送られるような教育を現地の人たちとともに考え、実践していきたいです。



氏名：石垣 稔（2022-3，農産物加工）

配属先：National Post Harvest Center

国立ポストハーベストセンター

- ・ **出身地**：新潟市
- ・ **趣味**：ジョギング、ダイビング、キャンプツーリング
- ・ **特技**：スクーターで林道走り
- ・ **経歴**：新潟の食品会社から現職参加でフィリピンの協力隊員。その後10年働いて退職し、チュニジア、フィジー×2回、ガイアナ（短期）の水産物加工SV。コロナ禍は沢庵漬の会社で、大根の収穫と漬け込みに従事。
- ・ **志望理由**：高校生の時にアフリカの飢饉を知り、子供達に十分な食事を取ってもらいたと思ったから。
- ・ **ブータンでしたいこと**：プナカマラソンの完走と2年間スマホを持たずに生活をする。



・ 予定されている活動内容

1. 国内の農産物で加工食品の提案、開発
2. 加工食品の製造指導
3. 商品化に対する助言
4. 既成のレシピで商品化するための提案
5. スタッフに対する技術指導

私としては食育を加えた農産物加工の普及を考えています。初めての海なし国と職種なので、南国の島々と違った体験ができそうです。



コロナと私

ティンプーでロックダウン体験

2019-3次隊 石川久夫

ブータン政府は2022年3月までゼロコロナ政策を採用し、コロナ患者が発生するとその地域（県もしくは市）ごとにロックダウンを実施していました。ゼロコロナ政策中のティンプーでの体験を簡単に記したいと思います。

ティンプーでは2022年に、1月16日～2月13日（29日間）と2月23日～3月27日（33日間）2回のロックダウンがありました。その時のロックダウンには3段階の規制レベルがあり、おおよそ以下のような状況でした。

① **Blackout**；外出禁止。オフィス、学校や商店等は閉鎖。この規制はロックダウン初日の1日のみでした。

② **Zoning System**；ティンプーの44居住地区のそれぞれの地区内（私の場合はUpper Changzamtog）で外出可。

Movement Passの携行が必要な期間と、不要な期間とがありました。Movement Passとは居住地区名と外出可能時間帯（Morning, Afternoon, Evening）が記されたA5サイズのカードで、ロックダウン開始時に各自が電話で申請し地区ごとにDe-Suupが申請者へ配布しました。Movement Pass必要期間中は、外出時は見えるように携行し、食料品等必需品の買い物以外の外出は原則不可、De-Suupが要所要所に居て外出目的等を確認されました。Movement Pass不要期間は、外出時間の制限は無く、仕事場が同地区内である場合は出勤も可能でした。期間中地区ごとに住民へのPCR検査が実施され、希望者へのワクチン接種もありました。

Mega Zone；ティンプーを4区画（North, Core-1, Core-2, South）に分割し、その区画以内で外出可。レストランの営業が段階的（最初はテイクアウトのみ、その後飲食可）にOKとなりました。

病気などの緊急時には都度申請して許可を得て、規制区域外への移動も可となりました。

私の場合は職場と住居が異なったZoneだったので、ロックダウン期間中は同僚や知人と会えず、会話をほとんどできなかった事が一番つらかったように思います。

4月以降はウィズコロナ政策に切り替えられて、新たなロックダウンはありません（2023年1月時点）。

コロナ渦での一時帰国と避難一時帰国

2021年度－7次隊 北川 伸二

私が健康診断のために日本に一時帰国したのは、ダイヤモンド・プリンセス号でコロナ患者が発生し、大騒ぎになり出した頃で、多少の不安を抱かえながらの帰国でした。普段はマスクなど着用しないブータンの方々も、Drukairの機内では皆しっかりとマスクをしていたのが印象的でした。バンコク・スワンナプーム空港に到着すると、ターミナル内のエアコンが全て止められていて、とても蒸し暑く、何度となく売店に生ジュースを注文しては、乗換までの時間をだらだらと過ごし、GateがOpenになるのを待った。バンコクから日本への便はガラガラで、これもコロナの影響かと思いつつも、三席独占で横になって眠れる喜びに浸りながらバンコクを後にした。

翌日到着した日本は、誰しもがマスクを着用している状態で、以前の様な日本ではありませんでした。自宅に着いた私は真っ先にマスクの購入に走りましたが、どこの店先からもマスクが消えた状態となっていて、少しばかり焦ったのを記憶しています。テレビをつければ連日ダイヤモンド・プリンセス号の状況や、世界各国で患者数が増加しているニュースを伝えられると、マスクの買いだめに走るのも無理からぬ事です。そして日が進むにつれ日本国内でも患者数が徐々に増加、兄が一年振りの再会という事で、兄弟家族が集まる企画を立ててくれたのですが、たまたま兄の娘が札幌雪祭りを観に行っていたため、その後の札幌での患者数急増のニュースを受け、家族の集いが流会になったのもコロナの影響を受けた一幕でした。



写真1:Drukairで一時帰国



写真2:人が誰もいないあべのハルカス最上階のカフェ

帰国して三週間が過ぎた頃でしょうか初代ブータン隊員の方と数年ぶりに大阪で会う機会があり、三十数年前のブータンでの思い出を語りながら酒に浸り、コロナの事を忘れる事ができた一日を過ごせましたが、もう翌日からはタイでの入国規制の開始、それに続くブータンでのコロナ患者一号の発生、JICA関係者の業務目的外の一般渡航（健康診断一時帰国、一時帰国を含めた任国外旅行等）見合わせ、JICA海外協力隊2019年度3次隊派遣延期の決定と、入ってくるのは悪い情報ばかりでした。

私は直ぐにJICA関係者の業務目的外の一般渡航見合わせに関して、JICAブータ

ン事務所に問い合わせを行い、自分は既に一時帰国により渡航中扱いになっているため、ブータンに戻るのには問題ないとの回答を得ると、即座に当初宿泊予定であったスワンナプーム空港近くのホテルをキャンセルし、空港ターミナル内のトランジットホテルの予約を行った。タイ入国規制の対応を終えると、今度はブータンの友人から予想もしていなかったDrukair便のキャンセル情報が入り込み、天を仰ぐ気持ちになるとはこの事かと思ひながら、変更便の有無を確認するためにパソコンと向き合うと、JICAブータン事務所より、同じ情報と日本～バンコク便も含め帰路の予約変更は全て事務所側で対応するとの連絡が入り、若干の安堵感を味わいながらも再度トランジットホテルの予約変更が必要となり、日程的に無料キャンセルも出来ず、「コロナのためフライトがキャンセルになり宿泊日を変更してほしい。」旨のメールをホテルマネージャー宛てでダイレクトに送付したら、即答でOKの返信が有り、多くの人コロナに振り回されているが、多くの人がサポートしてくれて、何だかブータンにいる様な気分を味わった。



写真3:スワンナプーム空港トランジットホテルがあるターミナルG

期。』という中での帰ブータン、搭乗手続きは最終目的地までのコロナによる規制情報を踏まえ厳重な確認が続き、大きな不安を抱かえながらのバンコクフライトとなった。機内で缶ビールを飲みながら、この先コロナでどうなるのだろうとあれこれ考えている間にスワンナプーム空港に到着、あれだけ多くの旅行客で溢れていたターミナルも、各航空会社の減便の影響を受けてガラガラの状態で、お客さんのいないレストランで軽い夕食を済ませ、明日はブータンと思ひながら早めの床に付いた。

翌早朝トランジットカウンターに行く
と、もう数人のブータン人がカウンターが開くのを待っていた。話しかけると一人の女性の方は日本で研修を終えての帰国との事、もう一人の女性はオーストラリアからの帰省との事で、このコロナ渦中でオーストラリアに戻れるかをとても心配していた。Drukairの搭乗手続きも厳重で、ブータン政府から発行されていたブータン滞在ビザ保持者再入国保障のレターを提示したものの、すぐには受け付けてもらえず、担当者の長い電話のやり取りを待った。そして発券が済んだ後は、近くのベンチに座り込みJICAブータン事務所にチェックインが無事に済んだ旨のメールを打った。



写真4:スワンナプーム空港トランジットカウンター

乗客は十数名程で、賑やかさもなく物静かなフライトであった。機窓からチョモラーリが見えた時はブータンに戻ってこれたんだと実感しながらも、眼下は受入を拒否する様な分厚い雲で一面が覆われ、何かを暗示しているかの様であった。そして飛行機は西



写真5:パロ空港着陸前の風景

ブータンの上空を大きく左旋回した後、僅かな雲の切れ目より潜り込む様にパロ空港に着陸、私は少しばかり感傷に浸りながらタラップが設置されるのを待った。タラップを降りると検疫官が待機しており、彼らの指示に従いながら検温と問診を済ませ、足早にイミグレとカスタムのカウンターを通過し、到着ロビーの外へと出たが、いつもの出迎えで賑わう光景はそこには無かった。空港脇の駐車場に停まっていたタクシーをひらい、アパートへと向かうが、途中にあるボンディの街は異様な静けさを保っていて、誰しものが家の中に閉じこもっているのが分かった。

心配していた予感、ブータン到着の二日後に『協力隊員全員の日本への避難一時帰国指示』という形で実際に襲来し、既にブータン政府の検疫処置に従い二週間の自宅隔離に置かれていたため、職場に行く事や、大家さんと直接話す事もできず、WeChatでやり取りしながら避難一時帰国の準備にかかりましたが、中々進める気にもなれず、部屋は散らかるばかりでした。そんな折、私のカウンターパートがオフィスから依頼した荷物を運んできてくれては、「サーはまたブータンに戻ってくる運命だから、気楽に考えた方がいいよ。」と私にアドバイスを投げてくださいました。そうだ、俺はまたブータンに戻ってこないといけないんだと自分に言い聞かせ、所持品の全てを二個のスーツケースと二つの段ボール箱に詰め込み、ティンプーに住む古い友人に引き取ってもらう段取りを付けて、空のスーツケースで帰国する事に決めました。後はJICAブータン事務所からの最終指示を待つだけでしたが、ブータンでの二例目の患者発生、インドが国際便の離発着を禁止するとの情報も流れ出し、ブータンもインドに準じて飛行機の離発着を禁止するのではないかという一抹の不安を抱かえながらの指示待ちでした。そして最終的に避難一時帰国の便に搭乗できたのは、忘れもしない2020年3月23日の早朝でした。前日にインドより国際便の離発着の完全停止の指令が出された中での、JICAブータン事務所所長、職員、そして現地スタッフの皆様全員でのギリギリのオペレーションが最後まで続いた事と察します。改めて感謝申し上げる次第です。

あれから二年と九ヶ月が過ぎましたが、こうしてまたブータンで活動できる機会に恵まれ、その喜びに浸りながらここで筆を置きたいと思います。

コロナと私

(2019年度3次隊から2021年度7次隊へ変更となった齋藤亨)

私は本来2019年度3次隊でした。2020年1月から3月まで、二本松訓練所で石川さん、鈴木さん(2019-3)、そして小堀さん(2022-7)と一緒に訓練を受けました。(全隊員169名)でも、石川さんや鈴木さんが出発するタイミングでは、受け入れ側の理由で一緒に旅立せず、隊次も変更となりました。

訓練中、食堂で食事中にテレビでニュースが流れ始め、次第に陽性者数が増えていく様子を見ながらも、遠い世界の出来事のような切迫感もなく、秋篠宮さまとの接見はなくなるかもしれない、という程度の受け止め方でした。まさか訓練終了後にこんな長い時間が待っているとは思いませんでした。

気づけば、訓練終了からブータン到着まで1年9カ月の時間が流れていました。

生きている間に再び同じようなことが起こるかどうかはわかりません。自分の力ではどうにもできず、それを受け止めて、できることを地道にやるしかない、先のことは誰にもわからないのだから、ということは今も痛感させられています。

訓練開始からブータン到着まで

2020	JICA・訓練関係	日本の動き・自分の動き	ブータンの状況
1月	訓練開始 1/7	国内初の感染者確認 1/16	
2月	訓練続行連絡 2/26	ダイヤモンドプリズ号10人の感染者 2/5	
3月	全世界派遣延期の連絡 3/6	オリパラ延期決定 3/24	国内で感染者確認 3/6
	訓練終了 3/16		入国禁止措置発表 3/7
	派遣隊員全員緊急帰国 3/18		
4月	2020年度春募集選考中止 4/15	緊急事態宣言 4/7	
	年内の派遣は困難と連絡くる 4/24	アベノマスク配布 4/17	
5月	2020年度の訓練開始が1年延期に 5/6	特別定額給付金 5/20	
6月	特別登録手続き開始 6/15		
7月		学習支援員として小学校に勤務	
8月	オンライン英語レッスン始まる		ロックダウン 8/11
9月			
10月			
11月	協力隊派遣再開へ動く 11/5		
12月		変異株が出現 12/26	ロックダウン 12/23
2021/1月		2度目の緊急事態宣言 1/7	初の死者 1/12
2月	ブータン渡航再開の連絡くる 2/26		
	同日、自分だけ未定といわれる2/26		
3月		学習支援員終了	ワクチン接種開始 3/27
4月			南部地域ロックダウン 4/17
5月			
6月		ブータン山の教室ロードショー	ティンブーロックダウン6/13
7月	ブータン渡航説明会の連絡が届く 7/2	郵便局でアルバイト	
8月	2019年度3次隊ブータン渡航 8/14	東京オリパラ	
9月	渡航予定日が知らされる 9/7		32日間新規陽性者なし9/15
10月			
11月			全陽性者数17人 11/29
12月	出発 12/5 ブータン到着12/6	オミクロン株出現	

ブータンに派遣されるまで（2020年から2021年12月）のブータンコロナの推移

2020年8月13日（初感染から5カ月）



11月17日（初感染から8カ月）



2021年1月12日（初の死者）



左から2番目、オレンジ色の「ACTIVE」が当日の総陽性者数

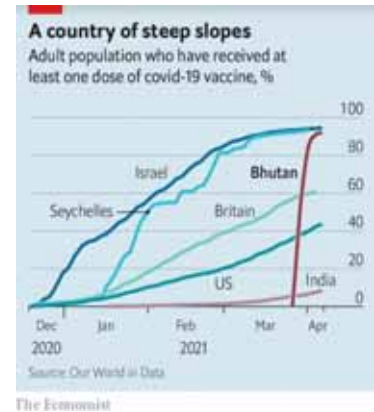
2021年3月4日（陽性者数減少）



3月27日（ワクチン接種開始）



4月10日（ワクチン接種状況）



4月25日（ワクチン接種1か月後）



6月7日（陽性者数増加）



8月13日（死者数3人）



9月15日（陽性者数1人）



11月29日（出国5日前）



2022年1月8日（オミクロン株登場）



左端、濃いブルーの「ACTIVE」が陽性者数

秋、陽性者数が減少し、やっと出発というタイミングで突然オミクロン株が出現。再延期もあり得ると覚悟しました。

2021年12月5日、成田空港出発。翌6日ブータン到着。



ドロックエアのスチュワーデスの防護は徹底していました。



パロ空港に着陸し、外に出るとまともな防護服の人が出迎えてくれました。



機内で配布されなかった昼食を受け取りました。



手荷物にも全て消毒液がかけられました。

2週間の隔離期間中（ティンプー・シティホテル）に毎食届けられた弁当の中からいくつかを紹介

左から、夜：マッシュルームのスパ

おやつ：インド風おかし

朝：パンケーキとフルーツ



—隔離が明けて（12/20）ドミに移動—

何故か、壁にかかっていたのは2018年12月のカレンダー。
そして、段ボールの中で、先輩隊員がバタバタする中で残っていた多数の生活用品が、もらってくれる人をじっと待っていました。



翌2022年のコロナの状況変化と自身が陽性になるまでのこと

2022年	日	陽性者数(当日)	ブータンコロナ状況	自分のこと
1月	8	103		
	16	271	ブラックアウト宣言 死者数3	
	25	1154		
2月	1	2133		
	3	2302	夕刻、ブラックアウト解除(パロ)	
	4	2261	早朝、再ブラックアウト宣言(パロ)	
	7	2488	ブラックアウト解除宣言(パロ)	
	12	2307		ワクチン3回目接種(モデルナ)
	16	2383	ブラックアウト1か月後 死者数5	
3月	23	3546	再びロックダウン(パロ)	オンライン授業開始
	2	4228	地域ごとの数で発表に	
	7	4106	5~11歳の接種開始	
	16	5666	ブラックアウト2か月後 死者数7	
4月	18	4642	ゾンカク内移動可能に(パロ)	
	16	9578	ブラックアウト3か月後 死者数16	4年生だけ対面授業開始
	19	7403		濃厚接触者になり自宅隔離1週間
	23	4546	政府、対応緩和策発表	全学年対面授業開始
5月	30	1394	ピークを越え陽性者数下降到	
	16	44	ブラックアウト後4カ月 死者数21 毎日の発表が週に1度の発表に	
6月	13	87	ブラックアウト後5カ月 死者数21	学期末考査
7月	11	116	ブラックアウト後6カ月 死者数21	夏季休業日~8/7
	16			ワクチン4回目接種(モデルナ)
	24			COVID-19陽性者になる自宅隔離
8月	15	116	ブラックアウト後7カ月 死者数21	新学期スタート
9月	19	311	ブラックアウト後8カ月 死者数21	
	26		陽性者数など発表終了宣言	
		ロックダウン中		

2023年1月3日現在：死者数合計21名



2月のある時期、ゾンカクごとの状況



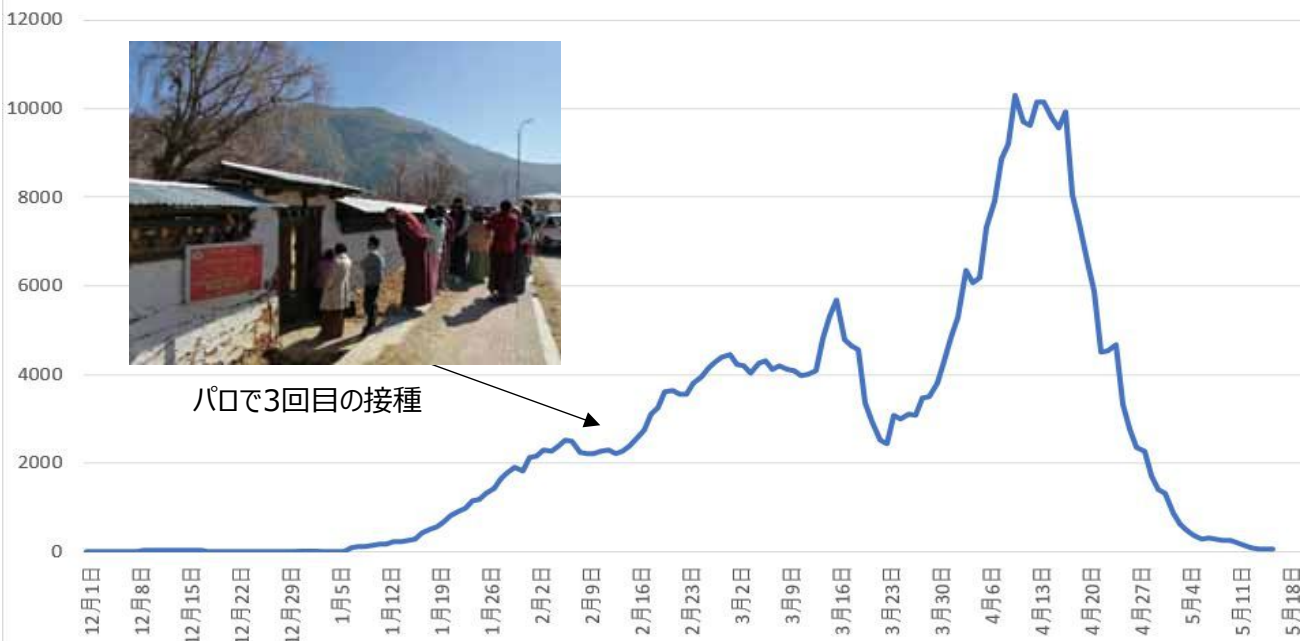
3月からゾンカクごとの数を発表

<https://www.facebook.com/MoHBhutan>より引用



陽性証明と処方された薬

当日全陽性者数



コロナ禍のブータンでの私はこんな感じだった



2022年1月5日, 研修を終えた2021-7次隊3名は, それぞれの配属先に派遣された.



活動を始めて1週間過ぎるとブータンではロックダウンが始まった. 2022年1月20日, 人通りの全くないNorzin LamでDe-suupとPoliceが検問のために配置につくのを見かけた.



2022年2月10日, 1世帯1名の強制的PCR検査に並ぶ住民(上段). 防護服を着た検査員とそれを手伝うDe-suup(下段).



ロックダウン時の外出許可書 MOVEMENT PASS. 地域ごとに外出時間が指定され (MはMorning, 8-11amの2時間), 赤線内の範囲で買い物, 散歩などが許可された. 要所要所でPoliceやDe-suupが検問に立っていた.



2022年4月22日
ワクチンの接種会場の
National Memorial Chhorten.

写真上段が受け付けの行列. 書類はなく, 携帯番号を告げると, 前回の接種記録が確認され, PfizerかModernaのどちらのワクチンを希望するか聞かれた.



写真下段の建物の2か所の机にそれぞれ医師がいて希望したワクチンのほうに行って接種を済ませた.



2022年1月16日からのロックダウンの際には, 寒さ対策のために“歩ける寝袋”を着て, 家でブータンの防災関連のガイドラインや防災対策計画を読んだり, 英語の勉強をして規則的な生活を送っていた. しかし, 2月, 3月にロックダウンが延長されると緊張感は続かなくなった.

コロナと私

私は、2019年の春募集でラオスの県病院看護部で活動するシニア案件に応募しました。

コロナがなければ、2020年1次隊で2020年7月末にラオス派遣、2022年7月末に活動終了予定でした。2019年の7月に合格がわかり、長年勤務していた職場の退職準備、一人暮らしのアパートを引き払う準備をすすめました。JICAからは3月20日すぎにコロナの影響で派遣前訓練が延期になるとの連絡がありました。2020年3月末に職場を退職し、アパートも引き払い実家に移りました。

2020年春になり、派遣前訓練が1年後になるとの連絡を受けました。退職した病院に臨時職員で再就職し、1年後の派遣前訓練を待ちました。2021年冬に、ラオスの配属先が県病院より看護養成機関に変更になったことを知りましたが、派遣に出れるならと受け入れました。

2021年1次隊で、駒ヶ根訓練所で派遣前訓練を受けました。ここでの記憶は、ラオ語の猛勉強の記憶しかありません。ラオ語は字から学習しないといけず、本当に大変でした。退所直前に、ラオス事務所の方針で自分の活動先が変更になることがわかりました。その際は、新たな活動場所を探し、早期にラオスへ派遣されるとの説明でした。

派遣前訓練を終了後、実家に戻り、新たな配属先が決まるのを待ちました。結論的にいうと、結局、新たな活動先が決まらず2021年10月以降も日本で待機することになりました。

特別措置で、2022年3月まで任国振替先を探すということでした。しかし、看護師のシニア案件はない、一般案件もなかなかみつからないという厳しい説明も受けました。私以外の人達はラオスに派遣され、とてもつらかったです。しかし、ラオス派遣の夢は捨てられず、オンラインの語学の学習は、ラオ語（任国振替が決まるまで）と英語を行いました。先の見通しが立たないこともあり、2021年11月より再び退職した職場で臨時職員になりました。2021年12月に任国振替で今のブータンの案件を紹介されました。私は一刻もはやい派遣を希望していたのですぐに同意し、12月末に2022年3月6日にブータン派遣との知らせを受けました。しかし、その後、オミクロン株の大流行でブータンの派遣も延期、また、私のような医療職は派遣されることも難しい状況になりました。3月6日に出国と言われたため、12月に一度退職届を提出していましたが、退職届は取り下げ、引き続き臨時職員として働きました。先行きのめどの絶たない間、職場の同僚が私のこころの支えになってくれました。

2022年6月5日までに赴任出来ない場合は、再度、特別募集に応募するしかありませんでした。ラオスへ赴任出来なくなった時よりも、この頃のほうが本当につらかったです。なんとも言えない気持ちの毎日を送っていましたが、2022年4月末にブータンの派遣が6月5日に決まったとの連絡を受け、今回は予定通りにブータンに来ることができました。

派遣まで本当に紆余曲折ありました。猛勉強したラオ語はどぶに捨ててしまったような状況ですが、私は、今の配属先での活動に本当に満足しています。今回の経験より、配属先では思うように活動が進まないこともあります。その時は、もしかしたら、今はその時期ではないのかもしれないと捉えるようにしています。



情報交換広場



ポプジカ情報

訪問時期：12月の初め（2泊3日）

宿泊先：Yue Loki Farm Stay 17874116 バスタブなし、ボカリあり。

宿泊代：1350Nu（1泊）（知人を通したので割引あり）

交通費：ティンプーワンデュ間 400Nu（乗合）

ワンデュポプジカ間タクシー貸し切り 1400Nu（乗合350Nu）



ポプジカ谷では野鳥や動物たちがのんびり過ごしている姿を目にします。私が訪問した時は、オグロヅルが鳴きながら空を飛んだりする姿も見ることが出来て、とても贅沢な時間を持ってました。ガンテ・ネイチャートレイルは距離も手ごろ（4km）でお勧め。ガンテゴンパも見応えありです。



ブータンのロードレース情報

2022年後半から以前行われていたレースが再開しています。

現在発表されている**2023年のレース**と、去年行われたもの('22)は以下の通りです。

3月 4日（土）：ブータン国際マラソン（フル・ハーフ） プナカ

コース (<https://www.mapmyride.com/routes/view/115450633>)

5月21日（'22）：クロスカントリー選手権（4人での団体戦 1人10km） シャバ

5月28日（日）：ブータンサンダードラゴンマラソン（フル・ハーフ） パロ

コース (<https://irp.cdn-website.com/73094ee0/files/uploaded/ThunderDragonMarathonRoute.pdf>)

6月4日（'22）：ベテランズレース（トレイル12.5km） ティンプー

6月18日（'22）：コロネーションマラソン（フル・ハーフ） パロ

10月13日（'22）：スノーマンレース（ウルトラ203km） ガサ ※条件あり

11月1日（'22）：ティンプーハーフマラソン（ハーフ） ティンプー

12月24日（'22）：DRUK WANGYEL RUN（ハーフ） ティンプー（1/21に延期）



◎ パロでビール三昧 ◎

パロに「Namgay Artisanal Brewery」というビール工場とレストランが一緒になった店があります。

場所はパロFCのサッカー場の横。ここではビールを作っているだけでなくその試飲もできるのです。

メニュー表には12種類ものビールがあり、季節やタイミング(?)によって5種類（タダだった）や10種類

（200Nu取られた）も出てきます。ネーミングから「？」と、気になる中には、「Milk Stout」、

「Pineapple Goose」、「Momo Beer」「Good day Peach Soju Beer」というようなものもあつたり

します。値段は来たときのお楽しみです。

国内線情報：パロ空港-ユンプラ（タシガン）空港

時期：12月中旬 代金：Drukair 往復32599Nu（約5万円ちょっと）

飛行中、最高峰ガンカープスム（7561m）、第2位チョモリ（7326m）ともに、自分では見ることができたと思っています。（自信はない）日本では見ることのできない絶景でした。ユンプラ空港は標高が2500mほどの尾根にあり、「天空の滑走路」と呼ぶのにふさわしいと思います。

遊覧飛行観光と考えれば、往復5万円も高くはないのかもしれない。



↑ユンプラ空港 滑走路のレベルがわかるでしょうか？

パロの食べ物情報報

タクツァン訪問などでパロにやってきた時のおすすめの一品は「ジオルモモ」です。元はネパール料理のようで、（ジオルはネパール語で「汁」）揚げたてのフライドモモが辛酸っぱく暖かいスープの中に入っています。この「DINING OUT CAFÉ」は学生に教えてもらいました。普通の5個入りモモと違いボリューム満点でスープも絶品。食べたことのない方はパロ訪問時に是非。

パロタウンの中にある児童公園の道向かいの建物の1階にあります。1人前110Nu。



ブータンには和菓子はないけれどAdzuki beansがあります

和菓子が好きな私はブータンで小豆(Adzuki beans)を見つけたので、餡子を作っています。1kgあたりNu.250(ティンプー)とNu.200(パロ)で売っています(2022/12現在)。ただし、冬の期間だけ。ティンプーで売っている小豆はティラン(Tsirang)で栽培されたもの。レストランHayateのご主人(日本人女性)によるとブータンの小豆は皮が固いとのこと。それを知らなかったのが最初レシピ以上の時間をかけて煮ても柔らかくならず諦めて大失敗しました(写真左)。それ以降は圧力鍋を使って煮ています。皮が柔らかくなり、豆の体積が3から4倍になるまで煮ます。砂糖の量は標準の50%に抑えて甘さ控えめの餡子を味わっています(写真右)。ブータンでは高級野菜5種類(quinoa(キノア), ginger(ショウガ), adzuki beans(小豆), buckwheat(ソバ(の実), turmeric(ウコン))を優先し海外向けに輸出を計画しており、特に小豆の日本への輸出が計画されているとBBSは報じていました。しかし、その後、2023年にブータンは世界銀行が定める後発開発途上国(least developed countries)から卒業することで関税の優遇措置がなくなるために、残念ながらこの計画は中止されるとのこと。



2021-7次隊 榊山 勉

新鮮な卵を扱っているお店(名前はMILK BOOTHだけ ど) KNLEY PENJOR MILK BOOTH

ブータンでのタンパク源は安価な卵です。大豆もありますが、Nu.200/kg(ティンパー, 2022/12現在)と比較的高価で、冬季にしかかないようです。2022年12月現在、卵30個でNu.300弱で購入できます。1年前、汚染された鶏の餌の輸入問題のため品薄となり約2倍の値段でした。30個の卵が山積みになって売られていて、中には割ってみると黄身が変色した卵が数多くあったことがしばしばありました。紹介するお店は2019-Covid前まで新隊員向けの案内ツアーで直接紹介されていたお店です。このお店の卵は新鮮で冷蔵庫に保管されています。6個、12個、30個売りがあります。在庫量は多くないので夕方に行くと売り切れている場合があります。Zombala Restaurantの近く。Google Mapには載っていませんでした。そこで私が登録しました。詳細な情報はまだ載っていません。



2021-7次隊 榊山 勉

The History of Bhutan

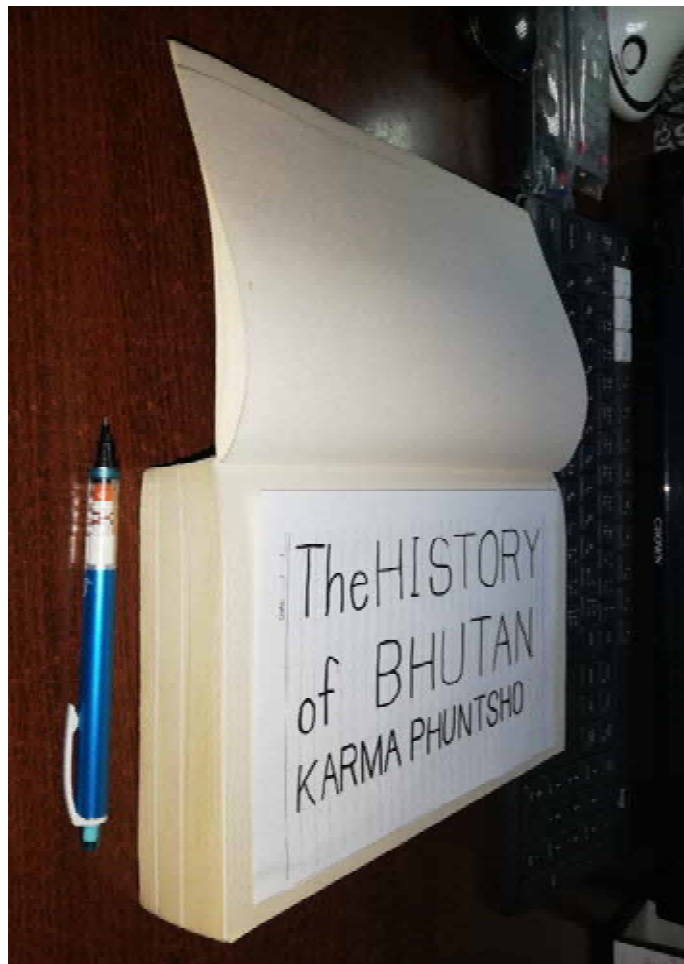
Author: Karma Phuntsho

PENGUIN BOOKS

'A must-read' – Kunzang Choden

2015 Choice Magazine Outstanding
Academic Title Award Winner

Thimphuの本屋さんで店員さんに勧められた著書。ブータンの歴史を英語で読むことに挑戦しようとする人にお勧めします。読み応えのある本文599ページ。一瞬迷いましたが、同期2人を前に見栄を張って購入しました。2021年1月1日から読み始め、1年経過して2回目の220ページあたりを読んでいます。これを読むと、地球の歩き方に記載されているブータン小史により関心をもて理解できるようになります。ブータンに欠かせない2人の人物として、8世紀中頃にブータンに仏教を伝えたインド人Padmasambhava (Guru Rinpoche, Precious Guru), 17世紀のブータンの創設者Zhabdrung Ngawang Namgyalについて詳細に知ることもできます。国内の権力争いやチベットとの戦争の多さも知ることもできます。ちなみに、Zhabdrungはチベットでgreat lamasを意味するタイトルですが、ブータンではNgawang Namgyalを示すようになったとのこと。



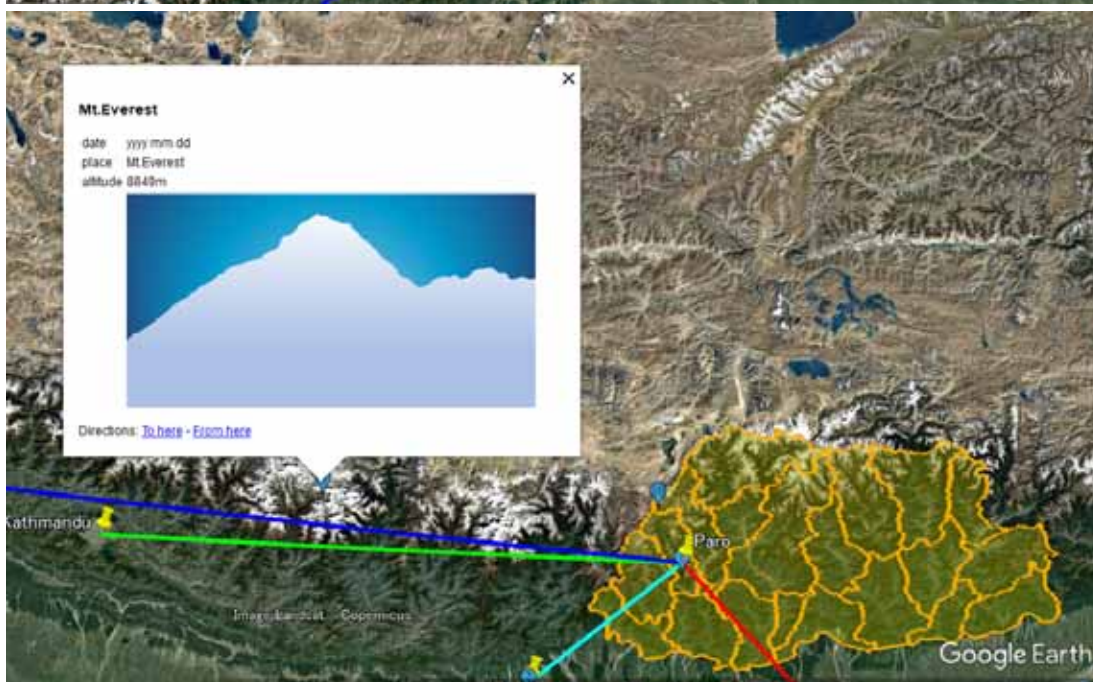
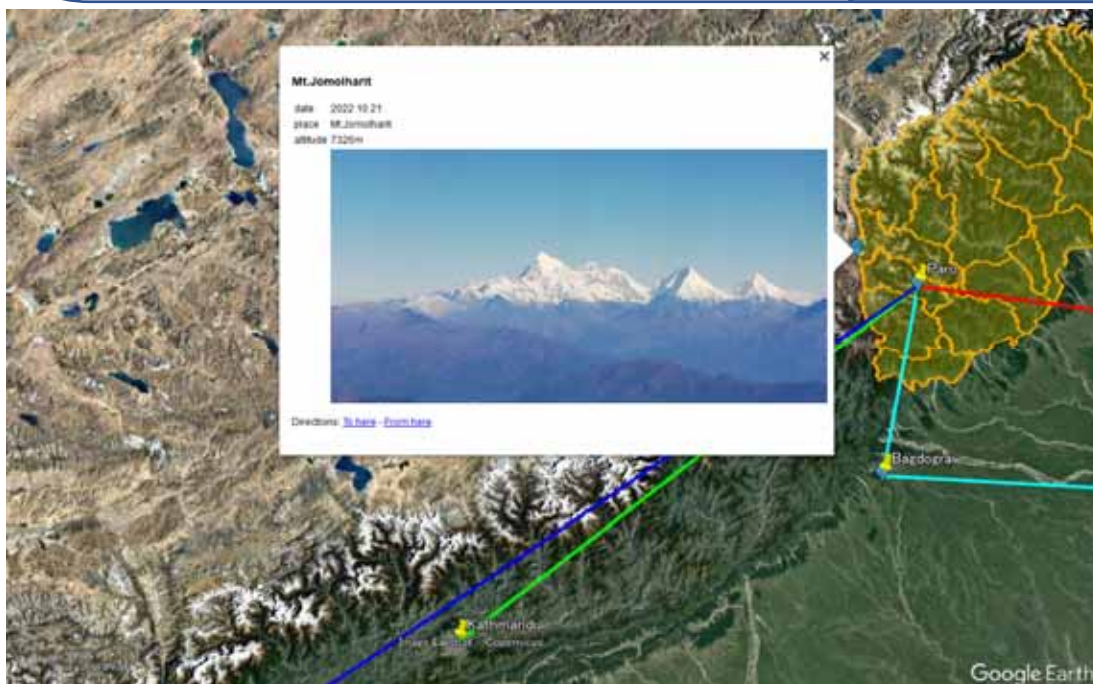
イギリス東インド会社がブータンに進出し始め、君主制に移行するあたりは展開が劇的でより興味を持てるのではないのでしょうか。2012年あたりで話は終わっていてGNHの話は含まれ、最近言われているhigh value low impactは既に2010年代の標語の復活のようです。ブータン人のオーストラリア移民は2005年くらいから始まっており、2012年まで約7年経過していますが、本著では触れられていません。移民はそれ以降に急増したのでしょうか、などなど現在のブータンの状況にもより関心を持てるようになると思います。

2021-7次隊 榊山 勉

Drukair機内からヒマラヤ山脈をみるには

パロからバンコクへ行くには直行便(赤線)とインドのBagdograを経由していく便(水色線)の2種類あります。後者のほうが時間がかかるのですが、ブータン第2の山 Mt.Jomolhari(or Chomolhari)を近くで比較的長い時間機内から見る事ができました。実はパロを発ちしばらくしてヒマラヤ山脈が見えたのでエベレスト山かと興奮しました。必死で写真とビデオを撮影しました。知り合いにエベレスト山の写真だと伝えてしまいました。よく知っている人に確認したら、エベレスト山ではありませんでした。パロからエベレスト山までは約250kmあります。エベレスト山を近くで見ることができるのはパローカトマンズ(黄緑線)かパローデリー間(青線)の飛行機を利用する時です。ネパールへの任国外旅行が解禁されるのを待ちましょう。

2021-7次隊 榊山 勉



Thimphu

ティンプー隊員おススメSPOT

ブータンのおすすめCAFÉ①☕

Bhutanese Boulangerie

市内のタクシーから7分くらいのOlakhaにあるCaféです。

ホテルの一階部分がカフェになっていて、クロワッサンとデニッシュが美味しいです。コーヒーも最高です。



ブータンのおすすめCAFÉ②☕

Meraki By Yangchen

JICA Officeから徒歩15分にあるCaféです。

ケーキやマフィン、ドーナツなど多くあるブータンのスイーツパラダイス。

ここで売られている食パンはNu120でとても美味しいです。コーヒーも最高です。



ブータンのおすすめスポット

Changlimithang Stadium

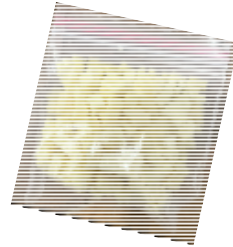
ブータンの市内にあるブータンの国立競技場。収容人数15000人で、サッカーの試合やナショナルデーで使われます。7月から12月に行われるブータンの国内リーグBPLでサッカー試合観戦がおすすめです。

2021-5次隊 田巻直樹

Paro

パロ隊員おススメSPOT

LAYKHAのチュゴ（乾燥チーズ）のミニサイズにハマってます！Nu30です。普通のサイズより食べやすいです。



LAYKHAはパロの乳製品屋さんだよ



配属先（FMCL）の近くに
激安キラショップを見つけました。
キラ、ウオンデュ、テゴでNu1750！
パロにお越しの際はぜひ！

SALE

-----おしゃれCAFÉ はここだ！-----

パロタウンは空港から車で10分ほどにあり、旅行客も納得のカフェがちらほら（もちろんブータン人も大好き♡）
すべてタウン内にあり徒歩圏内！パロに来たらここで一息ついてみてくださいね。

◆MOUNTAIN CAFÉ

パロNo. 1のおしゃれカフェ。ケーキやフードも充実
パロタウンに2店舗あるほか、ティンプーとパロ空港にも支店があります



◆CHAMPACA CAFÉ

美味しいのにリーズナブル！
カジュアルな雰囲気ですパロっ子にも大人気♡
おススメはサンドイッチとライスヌードルです



チャージ ボーナスポイント付与日

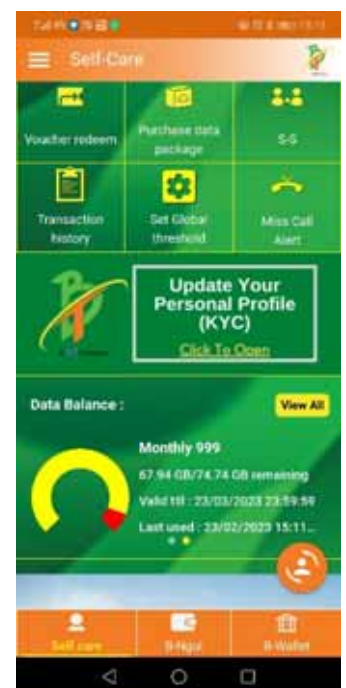
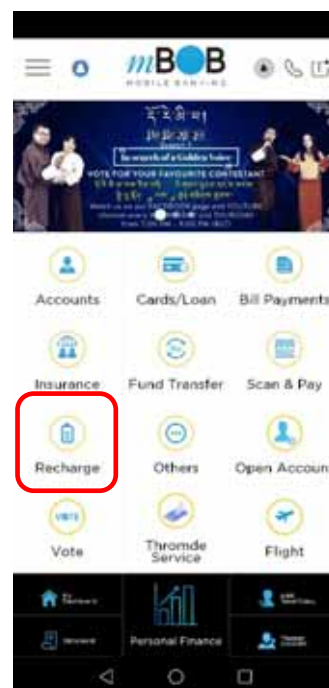
Bhutan Telecom data package

年月日	行事	カレンダーでの英語表記
2021年		
10月13日	5代国王結婚記念日	掲載なし
11月11日	4代国王誕生日	Birth Anniversary of the Fourth Druk Gyalpo/Constitution Day
12月17日	ナショナルデー	National Day
2022年		
2月5日	王子誕生日	
2月21日	5代国王誕生日	Birth Anniversary of His Majesty of the King
3月3日4日	ロサル(ブータン暦新年)	Losar
5月2日	3代国王誕生日	Birth Anniversary of the Third Druk Galpo
5月17日	WTISD (world telecommunication and information society day)	
6月4日	5代王妃誕生日	掲載なし

以上はこれまでの実績です。
 昨年度2021年度は50%以上に35%ボーナスなどもありました。データは+50%が通常分にそのまま加算されます。通話は50%がボーナス分として別途付与されます（ボーナス通話は90日期限あり）。

追記：2023年2月21日はBirth Anniversary of His Majesty the KingとLosarが重なったためか、データは2倍に加算されました。
 また、このようなボーナスでの増加は、BTからBT Offerに事前にメッセージが届きます。日頃から目を通すようにしましょう。

(2019-3次隊コンピュータ技術隊員からの情報提供内容を引用、一部加筆、2021-7次隊 榊山 勉)





ブータンあるある



- お湯がすぐ沸く
- お米もすぐ炊ける
- お香を米に立てる
- お賽銭で自分のお賽銭を両替する
- 写真を頼むとすごい枚数を撮ってくれる
- 車のミラーにカダルが巻いてある
- 車のダッシュボードに寝ている猫の置物が置いてある
- 突然、体重をカミングアウトする
- その後、体重を聞かれる
- 野菜を縦長に切る
- しゃもじがでかい
- それに慣れてしまった自分が怖い
- どこでご飯食べる問題、Thaliを選べば間違いはない
(皆好きだから)
- おばあちゃんのフルキラ & UNIQLO率高め

Losarにはkhabzeyを作る習慣



2023年は2月21日と22日がLosar. 今年も届いたいろいろな形のkhabzey.



2022年は3月3日と4日がLosar. 届いたkhabzeyには果物とクッキーが添えてあった.



大家さんがLosarの時期になったので、今年もkhabzeyを届けてくれました。1年目のときにはロックダウン中で、khabzeyにクッキーと果物つきでした。khabzeyにはあまり関心がありませんでした。その後、買い物に行くと気が付きました。年中普通にお店で売っています。購入して食べてみると、あとを引いて止まらなくなりました。それから、時々買うようになりました。

大家さんの作ったkhabzeyは手が込んでいて、いろいろな形があります。味もお店で買ったものよりも濃いようです。材料はmaida, sugar, oilとありましたが、家で作る場合には卵も入れるようです。maidaというのはインド語のようで、英語訳でrefined wheat flourとありました。もともとはチベットのお菓子で習慣も伝わったようです。

地形を反映したブータン独特の2つのレース

Veterans Race

2022年6月4日

From Taba to Tanin Nye

距離12km

標高約2500mから最高約2900mに達するトレイルコースを走ったり歩いたりするレースに3名が参加しました。参加資格は55歳以上と60歳以上の2つのカテゴリのみです。ブータンが誇る

Snowman's Raceの前に開催される年長者向けのレースと位置付けられているようです。主催のCouncil of Tourism(当時)の主催団体責任者であるDr. Tandi Dorji外務大臣も参加されました。10分後に出発した55歳カテゴリの外務大臣に途中で我々は抜かされ、驚きを隠せませんでした。

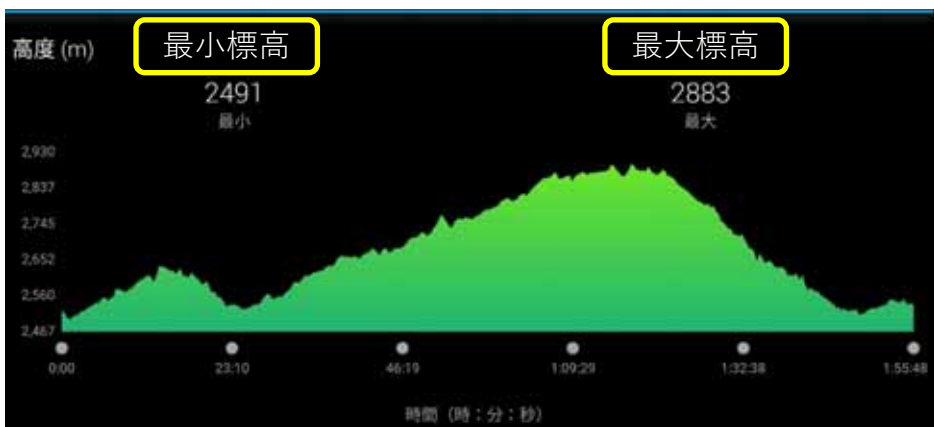


スタート前. 左から石川久夫(2019-3), 榊山 勉(2021-7), 齋藤 亨(2021-7)

2021-7次隊 榊山 勉



ゴール後、外務大臣から誘われて一緒に写真撮影



コースのラップ、○印の数字がkm

Druk Wangyel Run 2023年1月21日

ThimphuからDochula Passまで21km, 標高差800m.
4km過ぎて3100m目指してひたすら上るハーフマラソン

参加者数25名(男性20名内4名がJICA協力隊員, 女性5名). 協力隊員は全員完走しました. 平均勾配1/20, ブータンならではのレースです. 石川さんは前回に続き2回目の参加でした. 主催団体Bhutan Amateur Athletics Federationの会長から閉会式の挨拶のなかでJICA Volunteerの参加に感謝の言葉がありました. 2021-7次隊員は残念ながら(幸いにも?)次回のレース前に帰国となりもう参加できません.

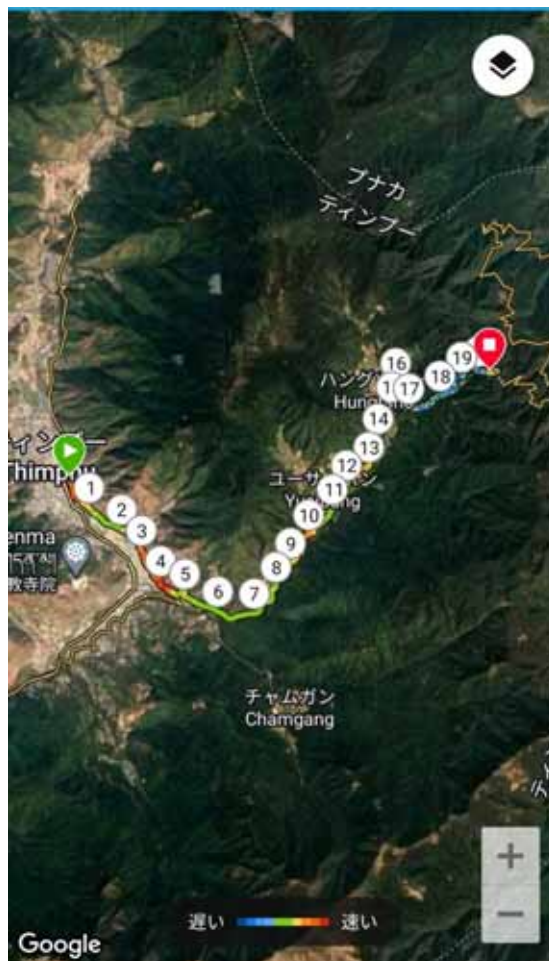


スタート前7時頃. 左から石川久夫(2019-3), 榊山 勉(2021-7), 小島海治(2022-7), 齋藤 亨(2021-7)

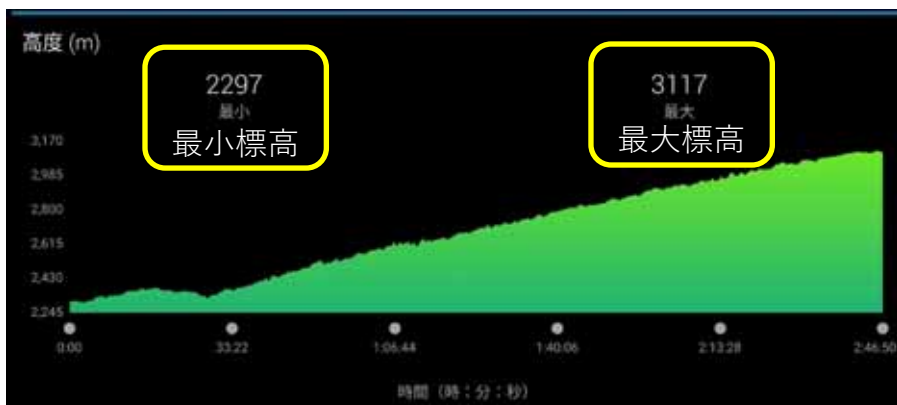
2021-7次隊 榊山 勉



ゴール後, 達成感に浸った4人のランナーたち.



コースのラップ, ○印の数字がkm



Bhutan International Marathon, 2023年3月4日

主催: Bhutan Olympic Committee, 開催地: Punakha

フルマラソンに1名とハーフマラソンに7名が参加しました。この参加者数はタイと同数で海外組の最多参加者数でした。フルマラソンに参加した齋藤さんは孤独との戦いのようなでした。これに反して、ハーフ参加組はスタート前から大いに盛り上がり楽しくスタートを切りました。以降は自分との戦い。沿道の多くのプナカのみなさんの応援に励まされ、それぞれのペースを保ち力走を続け、プナカゾンのフィニッシュのゲートにたどり着きました。フル、ハーフとも男女別50歳未満、50歳以上の部門に分かれ、参加した各部門で入賞者がでました。もう一度このコースを走りたいけれど、次回のレース開催前に任期終了のため参加できないのがとても残念です。

写真、ビデオが以下のサイトに掲載されています。

<https://www.facebook.com/bhutaninternationalmarathon>

https://www.youtube.com/watch?v=G5uNv0ikg_U

2021-7次隊 榊山 勉



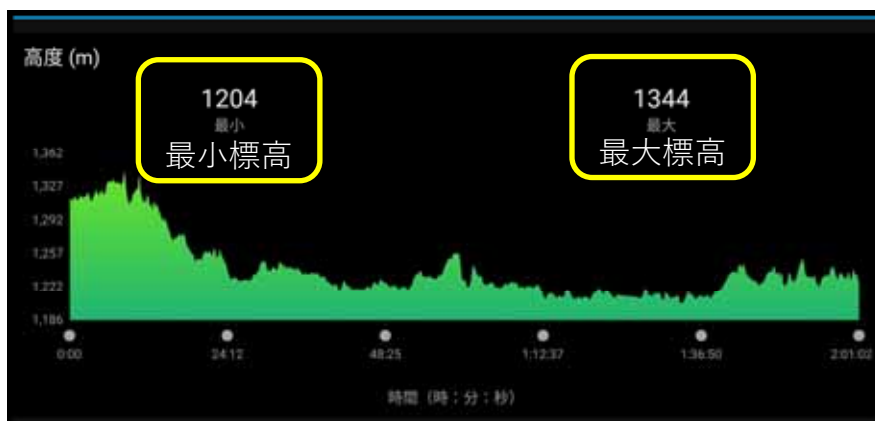
フルマラソンスタート前, 齋藤(2021-7)



フィニッシュ後の全員集合写真



ハーフマラソンスタート前, 左から榊山(2021-7), 田辺(2022-2), 山本(2022-7), 小島(2022-7), 大内(2022-1), 浅田(2021-4), 石川(2019-3)

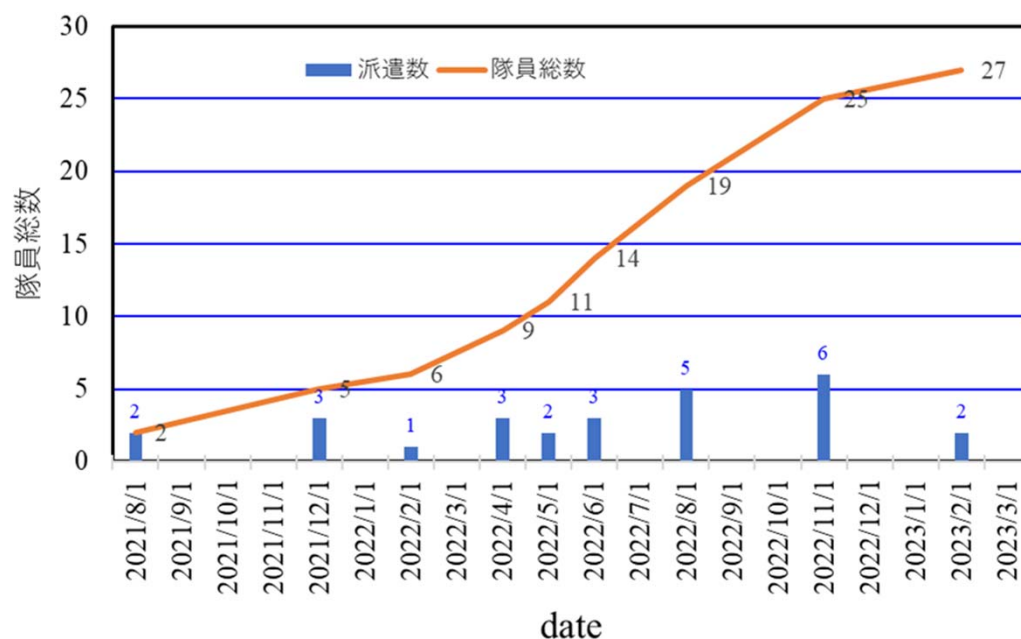


フルマラソンの後半のコースを兼ねたハーフマラソンのコース(右)と標高(左)

コロナ禍である時私たちは

新型コロナウイルスの発生から、その時派遣されていたJICA海外協力隊員の緊急一時帰国を経て、2022年度春募集の開始までの間の節目の出来事があった時に私たちは何をしていたのか、振り返ってみました。2023年2月現在、総勢27名の海外協力隊員がブータンで活動しています。

JICA ブータン隊員派遣数



No.	ブータン到着日	隊次	職種
1	2021/8/9	2019-3	建築設備
2		2019-3	コンピュータ技術
3	2021/12/6	2021-7	金属加工
4		2021-7	体育
5		2021-7	防災・災害対策
6	2022/2/28	2021-7	手工芸
7	2022/1/24	2022-7	学校保健
8		2022-7	柔道
9		2022-7	音楽
10	2022/5/9	2021-4	野菜栽培
11		2021-4	労働安全衛生
12	2022/6/6	2021-5	サッカー
13		2022-7	看護師
14		2022-7	看護師
15	2022/8/8	2022-7	体育
16		2022-1	体育
17		2022-1	きのこ栽培
18		2022-1	土木
19		2022-7	体育
20	2022/11/8	2022-2	農林統計
21		2022-2	獣医・衛生
22		2022-2	美術
23		2022-2	理学療法士
24		2022-2	看護師
25		2022-2	マーケティング
26	2023/2/1	2022-3	障害児・者支援
27		2022-3	農産物加工

	2019年12月	2020年3月末	2021年3月末	2021年5月頃	2022年1月-4月	2022年5月末
年次隊 職種 (任意：氏名)	新型コロナウィルスの発生	協力隊員緊急一時帰国開始	協力隊員派遣延期決定	ブータン国への派遣再開	ブータンではロックダウン	2022年度春募集開始
2019-3次隊 建築設備 石川久夫	12月末日付で勤務していた会社を退職。翌月からスタートする派遣前訓練の(心の)準備をしていました。	1月から3月中旬まで派遣前訓練に参加。訓練は無事終了したが、3月末予定だった任国への派遣が延期されました。	派遣延期期間中は、働きながら派遣再開決定を待っていました。	派遣再開の連絡を受け、勤務先へ退職届を提出、6月派遣予定→7月に延期→8月再延期、となりました。	ロックダウン中は、アパート周辺の散歩で気分転換したり、配属先職員とメールのやりとりしながら、暇な時間をやり過ごしていました。	ウィズコロナになって、周囲のコロナ感染状況が悪化し、日常的に対策が必要な雰囲気でした。
2019-3次隊 コンピューター技術	日本の丸森町で災害ボランティアに参加	派遣前訓練を終え派遣直前に延期が決定	日本でオンライン語学レッスンを続ける。	日本でオンライン語学レッスンを続ける。	ブータンでロックダウン在宅で活動	ブータンで活動
2021-7次隊 金属加工	偶然に見た中国国内Net Newsで武漢市にて原因不明の肺炎が発生している事を知る。	日本から戻った2日後に避難一時帰国準備の指示を受ける。	自宅の造園工事をしながら再派遣の吉報を待つ。	造園工事完了。再派遣決定の連絡を6月に受ける。	メールとWe-Chatにてカウンターパートと連絡を取り合いながら活動を開始する。	4回目のCOVID-19ワクチン接種完了。接種の翌日に高熱で職場を1日休む。

	2019年12月	2020年3月末	2021年3月末	2021年5月頃	2022年1月-4月	2022年5月末
年次隊 職種 (任意：氏名)	新型コロナウィルスの発生	協力隊員緊急一時帰国開始	協力隊員派遣延期決定	ブータン国への派遣再開	ブータンではロックダウン	2022年度春募集開始
2019-3次隊 →2021-7次隊 体育 齋藤 亨	12月末に早期退職し、訓練にそなえる。	二本松での訓練終了が近づくにつれコロナの影響が広がり、結局派遣延期になった。	小学校の学校支援員の契約終了。無職となる。	郵便局のアルバイトに応募する。	任地(パロ)到着11日後ロックダウンになり途方にくれる。	大学に学生が戻るが自分で主体的に動けることが全くない状態が続く。
2019-2次隊 防災・災害対策 2021-7次隊 防災・災害対策 榊山 勉	12月下旬、日本国内で新型コロナウイルスの報道がされ始めた頃、ブータンに派遣される。	たった3か月のブータン滞在で緊急一時帰国することになる。	特別登録に移行して、再派遣を待つことになる。	再派遣の準備のためのオンライン語学レッスンを続ける毎日をごした。	再派遣されるも度重なるロックダウン。許可された時間帯での買い物や散歩、在宅で活動の準備をした。	4月からやっと本格的に活動開始となって1か月ほど経過した。
2021-7次隊 手工芸	2019年1月派遣	1年2か月後帰国	特別登録に移行して、再派遣を待つことになる。	再派遣の準備のためにオンライン語学レッスンを続ける毎日	再派遣され、隔離、ロックダウン、学校閉鎖による2か月間活動できず。ゾンカ語などオンラインレッスンを受ける。	2022年5月活動開始。

	2019年12月	2020年3月末	2021年3月末	2021年5月頃	2022年1月-4月	2022年5月末
年次隊 職種 (任意：氏名)	新型コロナウィルスの発生	協力隊員緊急一時帰国開始	協力隊員派遣延期決定	ブータン国への派遣再開	ブータンではロックダウン	2022年度春募集開始
2022-7次隊 学校保健					1月派遣予定がブータン、ロックダウンにより延期。 4月、手続きの変更後に派遣	配属先派遣後、ひと月経過
2022-7次隊 柔道 福井 勇貴	大学4年柔道部選手・主務として活動	大学卒業 2月JICA海外協力隊2020-3次隊コスタリカ柔道合格 母校の大学でのコーチ就任	コーチとして柔道指導を継続 小・中学生、高校、大学生の指導	JICAからの連絡、コスタリカ中止 ブータンなら派遣可能性の打診 2021-3次隊ブータン・柔道に確定	1月派遣予定がロックダウンによって2度の延期。 4月に手続きの変更後に派遣	活動が始まって1か月、ブータン初の形、トーナメントの開催。 BOCでのプレゼンテーションの実施。

	2019年12月	2020年3月末	2021年3月末	2021年5月頃	2022年1月-4月	2022年5月末
年次隊 職種	新型コロナ ウィルス発生	協力隊員緊急 一時帰国開始	協力隊員派遣 延期決定	ブータン国へ の派遣再開	ブータンでは ロックダウン	2022年度春募 集開始
2022-7次隊 音楽 小島 海治	定年退職後、 横浜市立の小 学校にて産休 補助臨時教員 として音楽専 科を中心に指 導をしていた。	横浜市の教員 は終わり、相 模原市立の教 員の話があり、 同じく産休補 助代理教員と して、音楽専 科の仕事を続 けることが決 定	前年度と同じ 小学校で臨時 教員を続ける ことが決定。	シニア枠の日 本人学校の募 集があり、校 長から推薦状 を書いてもら うことを約束 される。その 直後JICAから ブータンに行 かないかとの ことでメール で伝えられる。 2日間悩んだ 結果、ブータ ンに行くこと を決意。	駒ヶ根での訓 練の後、警備 のアルバイト をしながら期 間を繋ぎ、同 期隊員の中 では最後の派 遣となり、4月12 日にブータン に到着。	5月16日より 初出勤。
2021-4次隊 野菜栽培 浅田 瑠理	2019秋募集の 面接が終わり、 結果待ちでド キドキ！	2月に2020-2 次隊ベナンで 合格連絡を受 ける。 会社に退職連 絡をしよう としていたが、 一旦中止に。	優先・希望度 の高い合格者 から隊次再編 となる。私の 再編時期は未 定。「本当は 今頃アフリカ か…」と思い ながら勤務を 継続。	前職を退職後、 仙台から大阪 に引っ越し。 同年8/17に ブータンに任 国振替と 2021-4次隊決 定の連絡を受 ける。	3/6派遣予定 だったが、 ロックダウン の影響を受け 派遣延期。	5/8出国

	2019年12月	2020年3月末	2021年3月末	2021年5月頃	2022年1月-4月	2022年5月末
年次隊 職種 (任意：氏名)	新型コロナウィルスの発生	協力隊員緊急一時帰国開始	協力隊員派遣延期決定	ブータン国への派遣再開	ブータンではロックダウン	2022年度春募集開始
2021-4次隊 労働安全衛生 岩佐 幹生	元々4期なので、それまでの計画準備を続ける。 -資格取得 -リストアップ -長年の課題 -カヌー作る材料集め	資格取得 カヌー製作		ゾンカ勉強開始	国内旅行 健康診断 各所挨拶 ダイエット 国内旅行 キャンプ 訓練	5/8出国
2021-5次隊 サッカー	オーストラリアで教員とサッカーコーチをしながら生活。	日本に帰国し、教員に。	JFAにブータンのサッカーコーチへ応募。	12月に教員を辞める。	何が何だかわからないまま二本松で訓練。	ブータンへ
2022-7次隊 看護師 新保比奈子				2021-1 駒ヶ根訓練所で派遣前訓練中(任国, ラオス)	任国振替 ブータンが決まりブータンへの派遣を待つ	6/5のブータン派遣準備

	2019年12月	2020年3月末	2021年3月末	2021年5月頃	2022年1月-4月	2022年5月末
年次隊 職種 (任意：氏名)	新型コロナウィルスの発生	協力隊員緊急一時帰国開始	協力隊員派遣延期決定	ブータン国への派遣再開	ブータンではロックダウン	2022年度春募集開始
2020-2次隊 看護師 2021-1次隊 看護師 2022-7次隊 看護師	2019年11月に合格	病院勤務中、JICAよりブータンからカンボジアへ派遣国変更の旨の連絡あり。	退職	2021年4月-6月派遣前訓練中、クメール語の勉強に励む。	2021年10月-2022年2月まで駒ヶ根で特別派遣前訓練。	ブータン派遣が決まり、(6月4日出国) 渡航前準備を進めていた。
2022-1次隊 体育 大内 巴瑠子	卒業学年である高校3年生の担任をしていました。まだ学校生活に影響はありませんでした。	卒業式は保護者や来賓なしで、生徒と教員のみで行いました。まだ状況が掴めず、ただただ残念でした。	コロナ対策を講じて式典や学校行事が再開されました。部活動は部内に濃厚接触者が出る度に活動停止となり、十分な活動が出来なかったです。	JOCV面接の準備を始めました。 〃	学校が休校になりオンライン授業がメインになりました。課題の配布や点検、成績処理が難しく、大変でした。	駒ヶ根訓練所で派遣前訓練を受けました。2週間はホテルでのリモート訓練でした。コロナ対策が厳しくとられており、活動に沢山の制限がありました。
2022-1次隊 きのこ栽培 熊田 淳	南インドでアーユルヴェーダ治療	2020年度春募集応募 →選考中止	2021年度春募集応募	2021年度春募集選考中	2022年度の派遣が実施されるのか心配	集合訓練

	2019年12月	2020年3月末	2021年3月末	2021年5月頃	2022年1月-4月	2022年5月末
年次隊 職種 (任意：氏名)	新型コロナウィルスの発生	協力隊員緊急一時帰国開始	協力隊員派遣延期決定	ブータン国への派遣再開	ブータンではロックダウン	2022年度春募集開始
2022-1 土木 渡邊弘海	当社でもテレワークを採用し、週に2回程度の報告の為の出勤となり、自己裁量の時間が多くなり、読書等充実した時間を過ごせた。	2021-1次隊に応募予定の為、健康診断を受診。しかし当年の応募は中止となり残念。	2022-1次隊に応募。	応募はしたけれど、この先どうなるか不安。 退職前の会社にて業務に邁進中。	1～3月派遣準備で、人吉でグローバルプログラムに参加。 引き継ぎ。 4月から駒ヶ根にて訓練。	駒ヶ根訓練真っ只中。

	2019年12月	2020年3月末	2021年3月末	2021年5月頃	2022年1月-4月	2022年5月末
年次隊 職種 (任意：氏名)	新型コロナウィルスの発生	協力隊員緊急一時帰国開始	協力隊員派遣延期決定	ブータン国への派遣再開	ブータンではロックダウン	2022年度春募集開始
2019-1 体育 2022-7 体育 山本あすか	7月派遣 ブータンではコロナの”コ“の字もなく、冬休みを他隊員と満喫。 「日本は大丈夫？」とブータン人に心配される。	3月新年度の授業スタート。 3/5 ブータンコロナ患者一号。 3/6 プナカマラソン出場のため、早朝任地トンサへ帰る。(患者一号が直前までプナカに滞在していたため) ティンパー、パロ、プナカの学校は2週間休校。 →後に延期。 3/17 一時帰国可能性の知らせ。 3/18 全校休校 3/20 「すぐに任地を出発するように」との指示。きちんとお別れもできないまま任地を出発。 3/23 午前3:00夜逃げのようにドミ発、ブータン出国。 3/24 午前5:00羽田着。 3/25~4/8 自宅待機。 4/10 任地の住居引き上げ決定。 4/15 エクササイズビデオ作製開始。特別登録に移行。 10/16~ BBS2にてエクササイズビデオ放送開始。				2022年8月任地変更にて再派遣。

	2019年12月	2020年3月末	2021年3月末	2021年5月頃	2022年1月-4月	2022年5月末
年次隊 職種 (任意：氏名)	新型コロナウィルスの発生	協力隊員緊急一時帰国開始	協力隊員派遣延期決定	ブータン国への派遣再開	ブータンではロックダウン	2022年度春募集開始
2022-2 農林統計 鍋田はじめ	西宮市にある大学で働いていました。海外（アジア・アフリカ）に派遣されている学生のごことが気になり始めました。	学生の海外派遣に関し、次の派遣が急にダメになり、学生達がとても落ち込みました。帰国の方はギリギリOKでした。	この3月で所属先を定年退職し再雇用されました。別の大学への出向が開始。でも学生の海外派遣が全然ダメでした。	大学からの学生の海外派遣の可能性を検討中、協力隊の動きを調査しました。そこで農業系の募集を目にしました。	ブータン候補生の通知を受けていたので、大学を3月末で辞めた。4月から岩手県釜石市のNPO（根浜MIND）で活動しました。	釜石市での活動は6/24まで。7/20～駒ヶ根訓練（7/6頃、自分がコロナに罹患。自宅療養後、訓練参加が許可された）。
2022-2 獣医衛生 江面和彦				JICA海外協力隊応募	発表待ち	発表待ち

	2019年12月	2020年3月末	2021年3月末	2021年5月頃	2022年1月-4月	2022年5月末
年次隊 職種 (任意：氏名)	新型コロナウィルスの発生	協力隊員緊急一時帰国開始	協力隊員派遣延期決定	ブータン国への派遣再開	ブータンではロックダウン	2022年度春募集開始
2022-2 美術 鈴木宏幸	埼玉県育休代替職員として埼玉県西部福祉事務所に勤務。 高齢者施設の担当となり特養の新設にたずさわる。	埼玉県西部福祉事務所と同じ建物内にある坂戸保健所でコロナに対応するための体制が整えられる。臨機応変に福祉事務所からの職員応援もある旨周知される。	埼玉県内の高齢者施設でクラスターが多数発生する。このため予定していた特養の監査が中止となるケースが出る。県内の保健所の手が不足しているため応援職員として朝霞保健所、南部保健所へ1週間ずつ派遣される。電話による症状の聴き取りを手伝う。	埼玉県内のコロナ患者が高止まりの状態となった。再度朝霞保健所へ応援職員として派遣される。電話による患者への聴き取りを行う。又、狭山保健所へも行く。JICAの要請に自分が応募できそうなのがあるので応募書類を送付する。	埼玉県西部福祉事務所における育休代替職員としての任期が3月末に満了する。4月からJICAグローバルプログラムの活動に参加。島根県の高土町へ行く。	JICAグローバルプログラムの活動を行いつつ、7月からの駒ヶ根訓練所入所に向けて英語のオンラインレッスンを開始する。

	2019年12月	2020年3月末	2021年3月末	2021年5月頃	2022年1月-4月	2022年5月末
年次隊 職種 (任意：氏名)	新型コロナウィルスの発生	協力隊員緊急一時帰国開始	協力隊員派遣延期決定	ブータン国への派遣再開	ブータンではロックダウン	2022年度春募集開始
2022-2 理学療法士	当時総合病院で理学療法士として勤務。	職場にて、防護服＋N95マスクでリハビリ	感染対策を継続しながらリハビリ	協力隊2021年度春募集に応募	3月に退職。4月からグローバルプログラムで鳥取県南部町で地域創生に関わる。	6月までグローバルプログラム。7月から駒ヶ根訓練所で訓練開始。
2022-2 看護師 村中裕希	職場にコロナ病棟ができる。	コロナ対応	コロナ対応	協力隊に応募	3月に退職	訓練前のオンライン英会話開始
2022-2 マーケティング 花里さくら	年越し国外旅行に行く。ここから約3年海外に行けなくなるとは…	マスクや除菌商品の爆買いが続き、職場では商品手配の対応をする毎日。	転職を考え始める。協力隊の募集要項に目を通すことになる。	協力隊応募に向けて、書類作成を始める。	退職の意向を伝えて、引継ぎを開始。4月末にて最終出勤日を終える。	実家へ引越し完了！訓練所に向けて準備を開始する。
2022-3次隊 障害児者支援	協力隊応募への準備	応募書類提出→4月選考中止	日本での勤務を続けながら、募集再開を待つ。	協力隊に再応募する。	2022年3月末退職	派遣準備

	2019年12月	2020年3月末	2021年3月末	2021年5月頃	2022年1月-4月	2022年5月末
年次隊 職種 (任意：氏名)	新型コロナウィルスの発生	協力隊員緊急一時帰国開始	協力隊員派遣延期決定	ブータン国への派遣再開	ブータンではロックダウン	2022年度春募集開始
2022-3次隊 農産物加工 石垣 稔	12月中旬にトンガの農産物加工で二次面接を受ける。	2月上旬に合格通知を受け。2月末迄にトンガの食に関わっている東京と名古屋の大学の先生に会いに行く。	新潟ハーフマラソン（周回コース）に参加する。	4月下旬に岳温泉、5月中旬に蔵王温泉までキャンプツーリング。	2月上旬にブータンの振替合格通知を受け。4月中旬に県民割を使って山形で「山の教室」を観る。	5月中旬に伸び伸びだった東京と千葉の親戚のお墓参りに行く。県民割を使って岳温泉に宿泊。

編集後記

Druk54号編集委員会

研究職だったので論文編集やプレゼン資料作成には慣れていていると思いき、隊員総会で編集委員に手を挙げました。原稿を集めて編集するだけと思っていましたが、見栄えのいい紙面作成の技術が必要と後になって気が付きました。機関紙の公開、非公開の投票に始まり、編集方針に関する予想外の問い合わせが相次ぎました。質問には真摯に答える姿勢も前職で身に付いたことなので、この対応のため各方面に確認しお答えしたつもりです。

最初の編集委員会で公開版と非公開版の両方を発行することを、委員が3名だったので多数決で決めることができました。最初はよそよそしかったのが楽しい時もあり、そのうち「委員会に臨むなら予め資料を読んできてください」と言えるようになりました。「何回も言うからうるさいのよね」と返ってくるような雰囲気でした。

非公開版から公開版が作成しやすいように1ページ単位の原稿要綱を作成して皆さんに投稿をお願いしました。みなさんから原稿が集まり一番早く一編ずつゆっくり読むことができたのは編集委員の特権でした。投稿に加えて特集の提案をいただき、徐々に内容が膨らんでいきました。

発行が遅れたので2022-3次隊のお二人にも投稿をお願いできました。使える写真も増えました。再建直後のWangdue Phodrang Dzongの中庭で1列に並ぶお人形さんのような3人の写真が気に入ってます。女性の1人がスマホを持っています。ブータンのこの組み合わせが好きです。全体的に新聞記事のようなになっているのは記録を残したかったためです。皆さんからの投稿内容で変化に富んだ機関紙になりました。ありがとうございました。

発行予定日が伸びまくること数か月、どうにか発行に漕ぎつけたことを嬉しく思います。

私は宿題は最終日にやるタイプなので、編集委員のお二人を何度困らせたか分かりません。過去の情報が少なく、加えて世代・性別・ロケーションもバラバラの編集委員三人で振り返れば山あり谷ありの作業でしたが、そこで意見をすり合わせながら一つのものを作っていくというのは非常にいい経験で私自身勉強になりました。と、まじめな感じで言いましたが実際はカフェやオンラインで話が横道に脱線しまくりながら楽しくやっていました。笑

今回の機関誌は隊員の皆さんからの情報がメインとなっており、皆さんの協力なしには完成しませんでした。隊員誌に情報を提供してくださった皆様、編集委員会のメンバーに改めてお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。



不動の編集長 神山



宿題は最終日 浅田

Drukyl: The Land of the Thunder Dragon in Dzongkha, the official language of Bhutan.	
表紙の写真の建造物と場所	
Tango Gompa Thimphu	Punakha Dzong Punakha
Gangtey Monastery Phobjikha	Wangditse Lhakhang Thimphu
Trongsa Dzong Trongsa	Wangdue Phodrang Dzong Wangdue Phodrang

Druk54号編集委員会の許可なくこの機関誌の内容の全部もしくは一部を転載することをお断りします。